

## 和仏法律学校講義録

勝本, 勘三郎 / 松井, 茂 / 竹井, 耕一郎

---

(出版者 / Publisher)

和佛法律學校

(巻 / Volume)

3

(号 / Number)

号外の3

(開始ページ / Start Page)

1

(終了ページ / End Page)

53

(発行年 / Year)

1901-03-15

# 和佛法律學校

## 講義錄

第 三 部

號 外 之 三

刑 法 各 論 (自三八〇至四六〇) 法學士勝木勘三郎

行 政 法 (自四六〇至五三〇) 法學士竹井耕一郎

警 察 法 (完) (自五三〇至五九二) 法學士松井茂  
表紙及び目次四頁

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 20 1 2 3 4

090  
1900  
3-2-3

テ形式ノ虚偽ナルニモ拘ラス實質カ眞實ナリト云フコトハ之ヲ爭フ者ノ證明  
スヘキモノナルカ故ニ若シ夫レ被告ニ於テ之ヲ爭フモ之ヲ證明スルコトヲ  
得サルトキハ當然ノ結果トシテ被告ハ實質ヲモ之ヲ偽リタルモノトシテ有罪  
ノ決定ヲ爲ササルヘカラスト確信ス(二)事實ノ眞實ヲ偽リタルコトヲ要スルカ  
故ニ事實貸借又ハ委任ノ契約アル場合ニ於テ債權者又ハ受任者カ擅ニ債務者  
又ハ委任者ノ名義ヲ以テ貸借又ハ委任關係ヲ證明スヘキ證書ヲ作成シ會計官  
吏カ百圓ノ支出ナルニ五十圓ト誤記シタル場合ニ於テ百圓ト訂正シ或ハ歐文  
ニテ記載スヘキヲ日本文ニテ金百圓ト誤記シタル場合ニ於テ之ヲ<sup>50</sup>100ト訂正シ  
又支出シタル金額ヲ記載スルコトヲ忘却シタル場合ニ於テ後日之ヲ記入シタ  
ルカ如キハ所爲ニ於テモ意思ニ於テモ事實ノ眞實ヲ偽ラサルトキハ勿論縱令  
眞實ヲ偽ルノ意思ヲ以テ眞實ニ非サルモノト信シテ作製シタルモノ例ヘハ眞  
實被告ニ金百圓ヲ與フヘントノ遺言書アルコトヲ知ラスシテ同一ノ事實ヲ記  
載シタル遺言書ヲ偽造シタルカ如キ眞實ニ偶中シタル場合ト雖モ犯罪ヲ構成  
セタルモノトス

### 第三ノ要素 文書カ證明セントスル事實ニ關スルコトヲ要ス

(一)是レ前ノ要素ト同シク文書ノ偽造カ罪トシ罰セラルルニハ害ヲ生シ得ヘキコトヲ要スト云フコトヨリ當然生スル所ノモノタリ蓋シ先ニモ説明セシ如ク法律上所謂文書ナルモノハ證據即チ事實ヲ證明スルノ用ニ供スルモノニシテ其偽造又ハ變造ハ證據ヲ偽ルニ存ス隨テ經令文書ニ依リテ事實ノ真實ヲ偽ルモ其依リテ偽ラレタル事項カ文書ノ證明セント欲スル所ノ事實ニ關セサルカ又ハ其文書ノ實質自體若クハ形式カ證明ノ用ニ供セラルヘキモノニ非ナルトキハ毫モ實害ヲ生スルノ危險ナケレハナリ(二)所爲者カ文書ニ依リテ真實ヲ偽ラントシタル事項ハ文書カ證明セント欲スル所ノ事實ニ關スルコトヲ要スルカ故ニ例ヘハ金百圓右正ニ借用ストアルヲ右正ニ借用申處實正也トシタルカ如キ詩歌俳偈等ヲ記載シタル文書即チ其實質カ事實ヲ證明スルニ非ナルモノヲ偽造變造シタルカ如キ死者ノ死亡以後ノ日附ヲ以テ又ハ作製ノ職權ナキ官吏ノ名ヲ以テ若クハ虛無ノ人ノ名ヲ以テ文書ヲ偽造變造シタルカ如キハ何レモ罪ヲ構成セサルモノス―此 最後ニ示シタル設例ニ付キ人或ハ異論ヲ主張スル者

アリト雖モ畢竟認見タリ何ヲ以テ之ヲ言フ曰ク虛偽ノ人ノ名ヲ以テ作製セラレタル文書ハ往往ニシテ人ノ確信ヲ惹クコトアリ論者ノ以テ偽造罪トスル所以亦偏ニ此ニ存セン然レトモ文書カ表示シタル事實ノ信憑セラルル所以ハ署名者即チ責任者アルニ由ル換言スレハ文書カ表示シタル事實ヲ信スルハ責任者ヲ信スルカ故ナリ責任者ノ誰タルヲ知ラスンハ之カ文書ヲ信憑スルノ理ナシ然ラハ責任者ノ誰タルヲ知ラスシテ之ヲ信スル者ハ是レ文書其モノヲ信スルニ非ス責任者アルカ如クニ假裝セラレタル文書ノ外形ヲ妄信シタルモノニシテ洋酒等ノ壘ニ貼附スヘキ(ペーパー)紙幣ナリト妄信セタル田舎漢ト擇フ所ナケレハナリ(貨幣偽造罪ニ關スル説明參看)

### 第四ノ要素 害ヲ生シ得ヘキコトヲ要ス

證般ノ犯罪皆害アルコトヲ想像ス而シテ其所謂實害ナルモノハ犯罪ノ體素即チ所爲其モノノ中ニ包含スルモノニシテ前ニモ説明セシ如ク予ハ既に第二第三ノ要素ヲ以テ害ヲ生シ得ヘキ所爲ノ何者タルコトヲ説明シタルカ故ニ本要素ハ猶ホ竊盜罪ニ於テ他人ノ物件ヲ竊取スルコトヲ要スト言ハハ所謂害ハ其



中ニ包含スルモノニシテ更ニ害ヲ生シ得ヘキコトヲ要スル條件ヲ揭タルコトヲ要セサルカ如ク正確ナル論理想ヲ以テ言フトキハ畢竟純是ニ過キサルモノタリ而モ猶ホ予ノ之ヲ揭タル所以是レ文書偽造罪ハ他ノ犯罪ト異ナリ單ニ文書ヲ偽造變造スルノ意思ト之行使スルノ意思即チ他人ヲ欺罔シテ其確信ヲ害セントスルノ意思ノミヲ以テ十分ナリトセス進ミテ確信ヲ害シ因リテ他人ニ一、定、害、權利義務ノ得喪ニ關スル害惡ヲ與ヘ若クハ自己又ハ第三者ニ不正ノ利益ヲ得若クハ得セシメントノ意思アルコトヲ要スルモノニシテ(心素之ニ伴フヘキ所爲モ亦單ニ他人ヲ欺クニ止マラス因リテ他人ニ害ヲ與ヘ又ハ自己若クハ第三者ニ不正ノ利益ヲ得若クハ得セシメントスルノ所爲體素)アルコトヲ要スルモノタルヲ明カニセンカ爲メノミ換言スレハ後ニ揭タル所ノ意思ニ關スル要素ト相對向セシメ以テ其性質ヲ明カニセンカ爲メノミ蓋シ犯罪ノ行爲ハ或ハ其體素自體カ自ラ惡意アルコトヲ表彰スルモノト然ラサルモノトアリテ放火又ハ殺人罪ノ如キ所爲自體カ業ニ已ニ害意アルコトヲ表彰セリト雖モ本罪即チ文書偽造罪ノ如キハ其所爲單ニ人ヲ欺クト云フニ在リテ虛偽

ハ其レ自身常ニ惡意アルコトヲ表彰セサルカ故ニ所爲ノ方面ヨリ惡意ニ出ラタルモノタルコトヲ明カニセント欲セハ勢ヒ外形ニ表ハルヘキ所爲即チ文書ニ依リテ文書カ證明セント欲スル所ノ事實ノ真實ヲ偽ラフ所爲ノ外更ニ其所爲ハ害惡ヲ以テスルモノ隨テ害ヲ生シ得ヘキモノタルコトヲ明カニセサルヲ得サレハナリ

右説明セル如ク本要素ノ全般ハ已ニ之ヲ第二、第三要素ニ於テ説明シタルノミナラス其所謂害ノ何者タルヤハ後段意思ノ條ニ於テ之ヲ説明スルヲ便宜トスルカ故ニ本要素ノ説明ハ之ヲ第二、第三要素ニ譲リ直チニ意思ノ要素ニ入りテ説明ヲ試ミント欲ス

第五ノ要素 害ヲ生セシムルノ意思アルコトヲ要ス

凡ソ法律カ或行爲ヲ輕罪以上ノ犯罪トシテ罰スル場合ハ概テ其之ヲ犯ス者ニ於テ惡意即チ故ラニ國法ノ禁止スル所ノモノヲ犯シ以テ害ヲ生セシメント欲スルノ意思ヲ有シ重刑ノ避クヘカラサルカ故ナリ然リ而シテ凡ソ犯罪行爲ニ其レ自身概テ一般ノ習慣ニ反スルノ外形隨テ國法ノ必ス禁止セサルヘカ

ナル形式ヲ有ス此形式ヲ有スルカ故ニ殺人行爲ノ如キ放火行爲ノ如キ多クノ犯  
罪ハ犯人ニ於テ之ヲ知ルニモ拘ラス敢テスルノ意思即チ行爲ニ伴フ知覺タニ  
アルコトノ證明セラルルニ於テハ當然惡意害ヲ生セシメントノ意思ノ以テ重  
刑ヲ科セサルヘカラサル心意情況アリト謂フヲ得ヘク更ニ反對ノ辯解ヲ許サ  
スト雖モ少數ノ犯罪例ヘハ毆打創傷罪及ヒ本罪ノ如キハ其行爲自身必スシモ  
一般ノ習慣ニ反スルノ外形ヲ有セス(毆打創傷罪ニ付テ之ヲ言ハハ自體髮膚之  
ヲ父母ニ受ク敢テ毀傷セス之ヲ孝ト謂フ云云自ラ傷クモ仍ホ不徳タリ況ヤ他  
人ノ身體ヲ然レトモ身體ヲ毀傷スルハ却テ之ヲ保全スル所以ノモノタル場  
合アリ醫療ノ爲メ他人ノ身體ニ灸ヲ施スカ如キ一肢ヲ折ラサレハ生命ヲ失フ  
カ如キ場合ニ其一肢ヲ折リテ其生命ヲ全ウシタルカ如キ其一例ナリ然ラハ毆  
打創傷ノ行爲ハ其外形ニ於テ必スシモ一般ノ習慣ニ反セス本罪ニ付テ之ヲ言  
ハハ虛偽ノ陳述ヲ以テ人ヲ欺クハ道義ノ喜ハサル所然レトモ虛言モ亦一ノ方  
便ニシテ却テ道義ヲ全ウスルコトアリ佛者カ未來ニ地獄アリト説キテ人ノ邪  
念ヲ脱却セシムルカ如キ其一例タリ本罪ハ文書ヲ以テスルモノナレトモ文下

ヲ以テスルト口頭ヲ以テスルト其虛偽タルハ一ナリ然ラハ本罪ノ行爲モ亦其  
外形ニ於テハ必スシモ一般ノ習慣ニ反セス(隨テ法律ニ示シタル外形ノ行爲及  
ヒ之ニ伴フ所ノ所爲ノ知覺アリトテ常ニ必スシモ直チニ惡意即チ國法ヲ以テ  
重刑ヲ科セサルヘカラサル心意情況アリト謂フヲ得ス是レ法律カ(縱令之ヲ明  
言セスト雖モ)本罪ヲ構成スルニハ特ニ害ヲ生セシムルノ意思アルコトヲ要ス  
トスル所以ナリ蓋シ此ノ如クナラスンハ玉石同架概チ忍フヘカラサルノ結果  
ヲ生スレハナリ

害隨テ害ヲ生セシムルノ意思トハ何ソヤ—説明ニ先チ一言注意セント欲ス予  
ハ前ニ他人ヲ害シ又ハ不正ニ自己若クハ第三者ヲ利スルノ意思ト曰ヘリ此間  
別ニ區別アルニ非ス否論理的ニ言ハハ後段又ハ不正ニ云云ハ前段ノ中ニ包含  
セラルルモノニシテ畢竟蛇足タリ而シテ之ヲ附加スルハ讀者ノ了解ヲ助ケン  
カ爲メノミ概言スレハ他人ヲ害スルノ意思又ハ害ヲ生セシムルノ意思ト云フ  
ニ歸著ス蓋シ不正ノ利ハ一方ニ害惡ヲ想像スルモノニシテ自己又ハ第三者ヲ  
不正ニ利スルノ意思ハ當然他人ヲ害スルノ意思ナレハナリ隨テ彼ノ或學者カ

佛國ガロー氏ノ所説ニ倣ヒ何人ヲ害スルノ意思ト云フノミヲ以テハ未ダ盡ササル所アリトシ後段又ハ不正ニ云云ノ文字ヲ附加セサルヘカラスト主張セルハ所謂竊ニ倣フノ類ニシテ探ルヘカラサルモノタルコトヲ了解スヘシ但シ所謂他人トハ必スシモ有形ノ人ノミヲ謂フニ非ス公私ノ法人モ亦人タルカ故ニ他人タリ若シ夫レ高尚ナル道義觀念ニ基キ苟モ文書ヲ證明セント欲スル所ノ事實ノ眞實ヲ偽ルトキハ茲ニ人ノ確信ヲ誤ラシムルカ故ニ即チ茲ニ害アリト言ハハ縱令之ニ因リテ何人ニモ損害ヲ與フルノ意思ナキカ若クハ單ニ一時ノ戲謔ニ出ツル場合ト雖モ已ニ犯人ニ於テ文書ヲ證明セント欲スル所ノ事實ノ眞實ヲ偽ルモノタルコトヲ知リナカラ其文書ヲ行使シテ他人ヲ欺クノ意思アルトキハ茲ニ害ヲ生セシムルノ意思アリト謂フコトヲ得ヘシ果シテ法律ハ之ヲ以テ足レリトスルカ予ヲ以テ之ヲ觀ルニ若シ夫レ之ヲ以テ満足セハ文書ヲ偽造變造シテ眞實ヲ偽ル云云ト云フノミヲ以テ十分ナリ之ヲ知リナカラ他人ヲ欺クノ意思云云ハ總則ノ適用上當然附隨セリ何ソ草案ニシテ又訓令ニ於テ(訓令ハ先モ説明シタル如ク當時ノ有權解釋タルカ故ニ之ヲ引用スルニ價值ア

ヲ或ハ usage frauduleux (惡意ノ行使アルヲ要スト曰ヒ或ハ已ニ眞實ヲ變換スルコトヲ要スト曰ヒナカラ更ニ他人ニ害ヲ加フルノ意思アルコトヲ要スト言フノ理アラシヤ然ルニ之ヲ要スルニ依リテ之ヲ觀レハ所謂害ナルモノハ單ニ眞實ヲ偽リテ因リテ確信ヲ害スルノミノ害惡ヲ云フニ非スシテ之ニ因リテ他人ニ法律上或一定ノ損害ヲ被ラシムルコト換言スレハ確信ヲ誤ラシメタル原因トシテ他人ノ權利ヲ損傷シタルコトヲ謂フモノトス廣ク權利ノ損傷ナルカ故ニ財産上ニ關スルト然ラサルトニ論ナキモノトス(隨テ茲ニ所謂害ヲ生セシムルノ意思トハ他人ノ確信ヲ誤ラシメ因リテ之ヲシテ一定ノ損害ヲ受ケシムルノ意思單ニ自己又ハ第三者ヲ不正ニ利セント欲スル者モ當然一方ニ於テ他人ノ損害ヲ想像スルカ故ニ他人ヲ害スルノ意思タルコトハ已ニ之ヲ説明セリヲ謂フモノトス法律ハ此意思アルコトヲ要スルカ故ニ例ヘハ先ニ例舉シタル場合即チ一時ノ戲謔ニ基キ文書ヲ偽造シテ之ヲ行使シ因リテ他人ヲ欺キタル者不在者ノ事務管理ノ爲メ其委任狀ヲ偽造行使シテ不在者ノ得ヘキ金額ヲ受取リ之ヲ不在者ニ交付シタル者他人ノ名義ヲ以テ承諾ヲ得シテ預ケタ

ル金額ヲ受取ラント欲シ其委任狀ヲ偽造シタル者等單ニ他人ノミヲ害スルノ意思例ヘハ他人ヲシテ無用ノ失費ヲ爲サシメントスルカ如キ意思モナク亦自己又ハ第三者ヲ不正ニ利スルノ意思隨テ他人ヲ害スルノ意思モナキ者ハ本罪ノ罪人タラサルモノトス此點ニ付キ彼ノ或學者カ佛國ガロー氏ノ説明ニ從ヒ害ヲ生セシムルノ意思アルコトヲ要スト言ハナカラ事實ノ真實ヲ偽ルコトタルヲ知ルト同時ニ他人ヲ欺クノ意思アルトキハ即チ害ヲ生セシムルノ意思アルモノナリト説明シタルカ如キハ「ガロー氏カ其説明ノ起頭ニ本罪ニ於テ害ヲ生シ得ヘキコトナクシテハ罪ヲ構成セサルハ猶ホ毒殺罪ニ於テ人ヲ殺スニ堪能ナル分量ノ毒物ヲ施用スルコトナクシテハ罪ヲ構成セサルト同シタ一般總則ノ適用ヲ脫セサルモノナリト言ヒタルハ實害云云ハ其犯罪ノ性質トシテ當然附著スルモノニシテ特ニ附隨トシテ之ヲ要スルニ非スト云フコトヲ説明シタルヲ誤解シタルノ罪ニ坐ス」ガロー氏刑法論第三卷第一〇九號岡田氏刑法論各論ノ部第三三三號第三三八號參看「ガロー氏カ其説明ノ中段ニ他人ヲシテ相續權アルカノ如クニ確信セシメンカ爲メ戲ニ遺言書ヲ偽造セタル者ハ真實ニ非サルヲ知リ

且ツ他人ヲ欺クノ意思アルニモ拘ラス無罪ナリト曰ヘルヲ見ルモ思ヒ半ハニ過キ」ガロー氏刑法論第二卷一四四號

以上ヲ以テ予輩ハ文書偽造罪ノ成立ニ必要ナル一般要素ヲ説明セリ仍テ是ヲ直チニ本罪ノ各論ニ入ルヘキモ我法律ニ於テハ右ノ各要素ノ外更ニ之ヲ行使シタルコトヲ要スルカ故ニ第六ノ要素トシテ行使ノ一項ヲ加ヘ以テ之ヲ説明セント欲ス

#### 第六ノ要素 行使シタルコトヲ要ス

一 行使トハ何ソヤ 是レ既ニ貨幣偽造ニ於テ説明シタル所更ニ説明ヲ要セタルカ如シト雖モ重要ナル犯罪ニ係ルカ故ニ更ニ之ヲ説明セン即チ行使トハ詐僞ノ勢力ヲ加ヘタル物件本罪ニ付テ之ヲ言ヘハ偽造又ハ變造シタル文書ヲ他人ニ提示シ之ヲシテ其確信ヲ誤ラシムルコトヲ謂フ他人ニ提示スルコトヲ要スルカ故ニ共犯ノ一人又ハ自己ノ代理人タル辯護士等ニ提示スルカ如キハ行使ニ非ス然レトモ單ニ他人タルコトヲ要スルノミナルカ故ニ犯人カ之ニ依リテ實害ヲ被ラシメントシタル人タルト否トヲ問ハス故ニ虛僞ノ主張ヲ賴

メンカ爲メニ之ヲ裁判所ニ提出スルモ亦行使ノ所爲ナリトス人或ハ裁判官ハ自己ノ信スル所ニ據リ判定ヲ下スモノニシテ必スシモ偽文書ニ依リテ欺カルルモノニ非ス換言スレハ裁判官ハ事實虛偽ノ主張ニ非サルヤヲ疑フ場合隨テ偽文書タルコトヲ疑フ場合ニ於テモ尙ホ法理ノ命スル所ト自己ノ確信スル所トニ據リテ判定ヲ下スモノナルカ故ニ裁判所ニ提出スルハ行使ニ非スト主張スル者アリト雖モ是レ行使ノ所爲ハ必スシモ欺カルヘキ人ニ提示スルコトヲ要セス欺カルヘキ狀況アル人ニ提示セハ完成スルモノニシテ裁判官ト雖モ欺カルコトナシト謂フコトヲ得サルカ故ニ欺カルヘキ狀況アル人ニ提示シタルモノタルコトヲ忘却シタルモノニシテ探ルニ足ラサル認見タリ(一)提示スルコトヲ要スルカ故ニ縱令他人ノ目ニ觸ルルモ故ラニ之ヲ提示セタルモノニ非サルモノ即チ偶然他人ノ目ニ觸レタルカ如キ場合ニ於テハ之ヲ以テ行使ノ所爲アリタリト謂フコトヲ得ス然レトモ其所謂提示ナルモノハ故ラニ他人ノ面前ニ提示スルコトヲ要セス他人カ之ヲ目撃スルコトヲ得ヘキ狀況ニ置タラ以テ足レリトス故ニ例ヘハ官吏カ其偽造變造シタル帳簿ヲ一定ノ場所ニ備附ケ

タルカ如キモ亦之ヲ行使シタルモノト謂フコトヲ得但シ此場合ニ於テモ未タ何人ノ目ニモ觸レサルノ間ハ行使ノ行爲ヲ遂ケタリト謂フヲ得ス行使ニ著手シツツアルモノタルニ過キサルカ故ニ縱令一旦備附ケタルモ未タ何人ノ目ニモ觸レサル間ニ之ヲ訂正又ハ取消シタルトキハ中止犯トシテ無罪タルヘ尙ホ人ヲ殺サント欲シテ路傍ニ陷罪ヲ造リタルモ被害ノ之ニ及ハサル間ニ之ヲ除去シタルカ如シ(三)確信ヲ誤ラシムルカ爲メニ提示シタルコトヲ要スルカ故ニ運輸ノ爲メ運送人又ハ使者ニ交付シタルカ如キ單ニ之カ形狀ヲ示シタルニ止マリテ實質ヲ對抗セサルモノ隨テ他人ノ之ニ對スル審査力ヲ害セサルモノハ之ヲ以テ行使シタルモノト謂フコトヲ得ス其適用ノ一トシテ學者間多少異議アリト雖モ予ハ彼ノ登記又ハ公證ヲ受タルカ爲メ偽文書ヲ公證人又ハ登記官吏ノ面前ニ提示スルカ如キハ單ニ文書ノ形體ヲ示スニ過キサルモノニシテ其實質ヲ對抗セサルモノ換言スレハ公證人又ハ登記官吏ハ單ニ其形體ヲ見テ公證又ハ登記スルノミ其實質ノ眞偽ヲ審査スルノ義務ナシ義務ナケレハ審査力ヲ害セラレシハ錯誤ニ陷ルコトナキカ故ニ行使ノ行爲ナキモノト確信ス蓋

シ若シ之ヲ以テ行使シタルモノトセハ公證又ハ登記ヲ經テ偽文書ヲ行使スル者ハ常ニ必ス二重ノ行使罪ヲ犯ササルヘカラサルヲ見ルモ其非理ナルヲ知ルニ足レハナリ(但シ本論ハ公證又ハ登記ヲ經ヘキ主タル文書其モノノミニ關シ公證ノ委任狀及ヒ登記ノ願書等ニ關セス此等ノモノハ其實質ヲ公證人又ハ登記官吏ニ對抗スルモノニシテ其提示ハ公證人又ハ登記官吏ノ審査力ヲ害スルモノナルカ故ニ行使ノ所爲タルヘキヤ論ヲ竣タス)

二 行使ノ未遂ト既遂トノ關係 行使トハ右ニ説明シタル如ク他人ノ確信ヲ誤ラシムルカ爲メニ偽造又ハ變造ノ文書ヲ他人ニ提示スルノ所爲ナルカ故ニ行使ノ所爲力既遂タルカ爲メニハ必スシモ之ニ依リテ他人ヲ錯誤ニ陷ラシメタルコトヲ要セス錯誤ニ陷ルヘキ狀況ニ在ル者ニ對シテ之ヲ欺クニ足ルヘキ文書ヲ提示シタル時ハ行使ノ所爲ヲ遂ケタルモノトス其初ヨリ虛偽ナルコトヲ發見セラレ若クハ後ニ於テ之ヲ發見セラレタルカ如キハ既遂ノ狀況ニ變動ヲ生セス隨テ行使力未遂タルカ爲メニハ未タ此等ノ狀況ニ違ヒサルニ先ニ意外ノ障礙ヲハ舛錯ニ因リテ其行爲ヲ阻害セラレタルコトヲ要ス

三 行使ト偽造又ハ變造トノ關係 予ハ嘗テ偽造變造ハ犯罪ノ豫備ナリトノ説ヲ主張セシカ今ハ之ヲ以テ犯罪ノ著手ナリト確信ス蓋シ若シ夫レ法律ニ於テ偽造若クハ變造シタル文書ヲ行使スル所爲ヲ以テ犯罪ヲ成行爲スルモノトセハ其所謂偽造變造ハ犯罪構成ノ一要素隨テ正犯行爲ノ一部分ナラサルカ故ニ犯罪ノ豫備ナリト雖モ法律ハ偽造又ハ變造シテ行使シタル者ト言ヒテ偽造又ハ變造ト行使トノ二要素ヲ具備スルニ非スンハ犯罪ヲ成行爲セストスルカ故ニ其所謂偽造變造ハ犯罪構成ノ一要素即チ正犯行爲ノ一部分ナルカ故ニ第百十二條ニ所謂犯罪其モノニシテ已ニ著手以上ノ所爲ナレハナリ著手以上ノ所爲ナルカ故ニ時効ハ偽造又ハ變造ノ所爲アリタル時ヨリ流出シ偽造又ハ變造ノ所爲ニ加功シタル者ハ常ニ正犯トス

## 第二款 文書偽造罪ノ體裁若クハ各種ノ文書偽造罪

法律ハ偽造セラルヘキ文書ノ性質如何即チ文書カ法律關係上重要ナルモノト否トニ因リ處分ヲ異ニセンカ爲メ其規定ヲ三分セリ曰ク(一)官文書ニ關スルモ

ノ(二)私文書ニ關スルモノ(三)特種ノ官私文書ニ關スルモノ是ナリ

### 第一項 官ノ文書ヲ偽造スル罪

法律ハ第三節官ノ文書ヲ偽造スル罪ヲ標題ノ下ニ於テ(一)官文書偽造罪及ヒ  
(二)官文書毀棄罪ヲ規定セリ

#### 第一段 官文書偽造罪

甲 本罪ノ構成 本罪ヲ構成スルニハ特別ノ要素トシテ其偽造又ハ變造セラ  
レタル文書ノ官文書タルコトヲ要シ各條項ニ該當スヘキ犯罪ヲ構成スルニハ  
法律カ各條項ニ記載シタル文書タルコトヲ要スルカ故ニ予ハ先ツ官文書ノ何  
者タルヤヲ説明シ次ニ其種類ヲ説明セント欲ス

第一 官文書ノ定義 官文書トハ何ソヤ之ニ付テハ二箇ノ見解アルヘシ官吏  
カ其職務ヲ以テ調製スル總テノ文書ヲ謂フトスルモノト官吏カ國家爲政ノ機  
關トシテ調製スル總テノ文書ヲ謂フトスルモノト是ナリ前ノ見解ヲ以テスレ

ハ苟モ官吏タル身分アル者カ法律命令ノ命シタル職務ノ權限内ニ於テ調製  
スルモノハ其公法上ノ關係ニ於テスルモノト私法上ノ關係ニ於テスルモノ  
トヲ問ハス總テ皆官文書タルヘシ後ノ見解ヲ以テスレハ所謂官文書トハ官吏  
カ國家爲政ノ機關即チ公法上所謂統治機關ハ一部トシテ作製シタルモノニ限  
リ私法上ノ關係即チ民事又ハ商事等ニ於テ作製スルモノハ官文書ト謂フヲ得  
ス隨テ各官衙ノ往復文等ハ官文書タルヘキモ官吏カ官署ヲ代表シテ一私人ト  
取結ヒタル契約書若クハ官吏カ國家ヲ代表シ一私人ノ資格ヲ以テ裁判所ニ差  
出シタル訴答文書ノ如キハ官文書ニ非スシテ私文書タルヘシ予ハ多數ノ反對  
論者アルヘキコトヲ豫想スルニ拘ラス後ノ見解ヲ主張ス蓋シ法律カ官私文書  
ヲ區別シテ其制裁ヲ異ニシタル所以ハ一般ニ對スル證據力カ其性質ノ上ニ於  
テ一應公正ト看做サルルト否トニ依リ被害ノ程度相同シカラサルニ因ルモノ  
ニシテ國家ノ爲政ハ公正ノ標準タルカ故ニ其文書モ亦反對ノ證明ナキ限ハ其  
レ自身公正ト看做サルヘキモ私法上ノ行爲ハ縱令國家ノ行爲ト雖モ裁判所ノ  
判決ニ服從セサルヘカラサルカ故ニ公正ノ標準ト謂フヲ得ス隨テ其文書モ亦

一般ノ私文書ト同シテ其レ自身公正ト看做サルルコトヲ得サレハナリ。所謂官文書ハ外國ノ官文書ヲモ包含スルカ。本問ハ外國ノ君主其親族及ヒ官吏ハ我所謂天皇皇族及ヒ官吏ト同一視スヘキヤト問題等ト其論究スヘキモノニシテ予輩ノ見ル所ニ依レハ老幼男女夫妻親子等一般自然上ノ關係若クハ自然上ノ關係ヲ法律カ認メタルモノハ外國ノ空氣水家屋等カ往タトテ空氣水家屋タルヲ失ハサルト同シク我國ニ於テモ老幼男女夫妻親子タリト雖モ君主皇族官吏官文書ノ如キ其國ニノミ限リ特ニ法律若クハ習慣等ノ人爲ニ由リテ組織セラレタル特別ノ制度ハ刑事國際法上我國ニ於テ之ヲ我國ノ君主皇族官吏官文書ト同視スヘシトノ明文ナキ以上ハ單純ナル一私人國際公法上外國ノ君主ハ我法權ニ服セス外國ノ皇族ハ刑セスト云フカ如キハ自ラ別問題トス又ハ私文書タルヘシ。

第二官文書ノ種類 法律ハ官文書ヲ分テテ三種トセリ曰ク詔書曰ク第二三條ノ官文書曰ク公證文書是ナリ。

一 詔書 天皇ノ親ラ作製セラレヘキ文書ハ勅書又ハ勅諭若クハ詔書ト曰ヒ

或ハ宸翰若クハ親翰ト曰ヒテ名稱種種ナリト雖モ皆通俗ノ稱呼ノミ學問上ヨリ區別スレハ先ニ廣ク官文書ニ付テ説明セタル如ク天皇カ國家爲政ノ首長トシテ作製セラレタル特別ノ文書ト單ニ天皇ト云フ高貴ノ御身分ヲ以テノミ作製セラレル一般ノ文書トノ二トスルコトヲ得茲ニ所謂詔書トハ此二者何レヲモ之ヲ包含スルヤ予輩ハ其官文書ノ一種トシテ規定セラレタル點ヨリ觀察シ先ニ廣ク官文書ニ付テ掲ケタル定義ヲ應用シテ茲ニ詔書トハ前者ノミヲ意味スト例ヘハ天皇カ友邦ノ君主又ハ皇族其他我貴顯諸公等ヘ宴遊其他單純ナル私人關係ノ爲メニ發セラルル文書ハ詔書ニ非スト論斷セント欲ス然レトモ此點ニ付テハ予ハ必スシモ爭ハス詔書ハ格別ナリト論モ亦有力ナルヘシ。

二 第二百三條ノ官文書 詔書及ヒ公證文書ヲ除キタル以外ノ官文書ヲ總括ス法律命令及ヒ帳簿等ヨリ各官署ノ間ニ於ケル單純ナル往復文等ニモ亦及フ説明ノ要ナシ。

三 公證文書 是レ第二百四條ノ規定スル所明文所謂公債證書地券ハ公證文書ノ一二ヲ例示シタルモノナリ然ラハ公證文書トハ果シテ如何ナル官文書ヲ



謂フカ曰ク一私人ノ利益ノ爲メ官吏カ一私人ニ屬スル或事項ヲ公證シテ特別ノ證據力ヲ附シ以テ一私人ニ下付スル一切ノ文書ヲ謂フ法律ノ例示シタル以外ニ於テ例舉セハ登記官吏カ願人ニ下付スル登記ノ原本公證人カ依頼人ニ付與スル公正證書ノ原本戸籍吏カ一私人ニ付與スル身分ニ關スル證明書等其著シキモノトス郵便局ノ貯金通帳及ヒ郵便爲替證書ニ付テハ人或ハ其前者ハ預金ヲ證スル爲メ人民ニ交付シタルモノ後者ハ爲替ノ取扱ヲ官署ニ囑託シテ人民相互ニ金錢ヲ授受スルモノニシテ孰レモ行政事務上官署ヨリ下付セシモノニ非サルカ故ニ第二百十條第一項私署證書ニ屬スヘキモノナリト主張スル者アリト雖モ此等ノモノハ孰レモ郵便ト云フ行政事務其モノトシテ一私人ニ下付シタルモノナルカ故ニ官文書タルコト一點ノ疑ヲ容レズ唯問題トシハ此等ノモノハ第二百三條ノ文書中ニ入ルヘキヤ將タ公證文書ノ中ニ入ルヘキヤニ在リ然リ而シテ我輩ハ法律カ公證文書ノ一例トシテ公債證書及ヒ地券ヲ列舉セルニ依リテ之ヲ觀レハ公證文書ニ屬スルモノト斷定スルヲ以テ至當ト信ス

次ニ一私人ヨリ差出シタル文書ヲ官吏カ與書等ニ由リテ公證シタル場合ニ於テハ官吏ノ作製シタル部分ノミカ公證文書ト爲ルカ將タ全體ノ文書カ舉テ公證文書ト爲ルカトノ疑問アリト雖モ此場合ニ於テハ一私人ノ作製シタル部分モ亦官吏ノ公證ニ因リテ官吏自身カ作製シタルニ異ナラサルコトト爲ルヘシ換言スレハ官吏ノ作製シタル文書ト一體ヲ爲シ其性質ヲ享タルカ故ニ全體ノ文書カ舉テ公證文書ト爲ルト決スヘキモノトス

終ニ法律ノ規定ニ付キ一言セント欲ス或一ノ官文書カ官文書トシテモ其果シテ普通ノ官文書ニ屬スルモノナルヤ將タ公證文書ニ屬スルモノナルヤハ事實上ニ於テ極メテ困難ナル問題タリ故ニ立法上ノ問題トシテハ可成の此ノ如キ區別ヲ避クルヲ可トス況ヤ我法律ノ規定ヲ見ルニ彼此其刑罰ノ上ニ於テモ殆ト異同アルヲ認メサルニ於テヤ實ニ無用有害ノ區別ト評スルノ外ナシ訂正ヲ要スヘキ一點トス

乙 本罪ノ處分 本罪ノ處分ニ關シ一般ニ法律カ輕懲役以上ノ重刑ヲ以テ待ツ所以ノモノハ先ニモ説明シタル如ク官文書ハ公正ノ標準ト爲ルヘキモノナ

シテ十分ナル證據力ヲ有スルカ故ニ之ニ因リテ生スヘキ被害多クハ確實ニ且  
ツ最も大ナルハナリ  
第一 証書ヲ偽造シ又ハ増減變換シタル罪 (一)法律ハ他ノ文書偽造罪ト異ナ  
リ單ニ之ヲ偽造シ又ハ變造シタルノミヲ以テ罪ヲ構成スルモノトシ亦其行使  
ヲ待タサルノミナラス無期徒刑ノ重刑ヲ科ス悖理不徳ノ極ナレハナリ然レト  
モ予ヲシテ際ヲ容レシメハ些カ酷ニ失セサルカ蓋シ此等ノ犯人ハ固ヨリ不徳  
ノ極タルハ明カナリト雖モ其目的トスル所多クハ或不正ノ利益ヲ得シカ爲メ  
證據ヲ偽ルニ在ルノミ必スシモ尊嚴ヲ汚瀆セント云フカ如キ禽獸ノ心アリト  
謂フヘカラサレハナリ(二)法律ハ偽造又ハ變造ノミヲ以テ直チニ罪ヲ構成スル  
モノトシ行使シタル場合ヲ豫見セサルカ故ニ單ニ偽造變造ニ止マルモ將タ進  
ミテ行使ニ及フモ同一ナリトス然レトモ法律ハ偽造又ハ變造ノミヲ豫見レ行  
使ヲ罰スルノ規定ヲ設ケサルカ故ニ偽造變造ノ情ヲ知リテ單ニ行使ノミヲ爲  
シタル者ハ無罪トセサルヲ得ス立法上ノ大缺點タリ同一ノ論法ニ據リ縱令自  
ラ偽造變造シタル者ト雖モ偽造變造ニ付テ刑ノ時效ヲ得タル後行使シタル者

ハ亦無罪タラサルヲ得ス何ソ其レ太タシキヤ此點ハ他ノ文書偽造罪ニ於テモ  
亦同一ナリ

第二 第二百三條ノ文書若クハ公證文書ヲ偽造シ又ハ増減變換シタル罪 法  
律ハ普通ノ場合ニ輕懲役ニ處シ無記名ノ公債證書ニ係ル者ニ對シ一等ヲ加フ  
ルノ外第二百五條ニ官吏其管掌ニ係ル文書ヲ偽造又ハ増減變換シテ行使シタ  
ル者ハ前二條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フトアリテ犯人ノ資格ニ依リ更ニ各刑ヲ  
加重スルコトトセリ普通ノ場合ハ説明ヲ要セス無記名ノ公債證書ニ係ル場  
合ニ一等ヲ加フルハ紙幣ト共ニ流通ノ容易ナルカ故ニ其害大ナルニ由ル(二)之  
ヲ管掌スル職務ヲ有スル官吏カ犯シタル場合ニ於テ更ニ刑ヲ加重スルハ犯ス  
ニ易ク防クニ困難ナルノミナラス職務ヲ汚辱シ國家ノ威信ヲ失墜スルコト大  
ナルカ故ナリ

茲ニ所謂官吏トハ如何ナル者ヲ謂フヤ法律カ文書ヲ管掌スル者タルノ故ヲ以  
テ利ヲ加重スル所以ハ右ニ説明セル如ク犯スニ易ク防クニ困難ニシテ職務ヲ  
汚辱シ國家ノ威信ヲ失墜スルカ故タルニ依リテ之ヲ觀レハ苟モ公權ノ委任ヲ

受ケ國家ノ爲政機關ノ一部トシテ職務ヲ奉スル者ハ一時ト永久ト階級ト上下トニ別ナク皆官吏タルヘシ隨テ茲ニ所謂官吏トハ委任官又ハ判任官ト云フカ如キ者ノミナラス准奏判任又ハ展特ニ日給版ト稱スル臨時的ノ者ト雖モ亦皆之ヲ包含スルモノトス

管掌トハ何ソヤ 法律ハ何レノ處ニ於テモ之ヲ定義セスト雖モ(一)第二百七十三條ニ「官吏其管掌ニ係ル法律規則ヲ公布施行セス云」トアリテ同條所謂管掌トハ法律規則ヲ公布施行スヘキ職務ヲ有スル者換言スレハ或文書ヲ作製シテ法律規則ヲ發生セシムヘキ職責アル者ト云フノ義ヲ示セルト(二)第二百五條ノ第二百二條ニ及ハサルト(三)第二百五條ノ規定ニ該當スル佛文第一草案第二百三十八條ニ「Sera puni de la réclusion majeure tout fonctionnaire ou officier public qui dans la rédaction d'un acte ou document original appartenant à sa fonction et destiné à constater des faits intéressant l'Etat ou les particuliers, soit en dénaturant les faits, les dates ou les noms des personnes intéressées, soit en mentionnant des faits qui n'auraient pas existé, soit en omettant de mentionner des faits véritables et substantiels」(即チ官吏公吏其職務ヲ以テ國家又ハ一

個人ニ關スル事實ヲ證明スヘキ原簿ヲ作製スルニ當リ或ハ事實ノ日時關係人ノ氏名ヲ偽リ或ハ不正確ナリト知レル事實ヲ記載セ或ハ眞實ナル主要ノ事實ヲ記載セサルトキハ重懲役ニ處ストアリテ該條ハ職務上公文書ノ作製ヲ司掌スル者ノ偽造變造行使ヲ處罰スルノ規定ナルトニ依リテ之ヲ觀レハ茲ニ所謂管掌トハ文書ヲ保管スルノ義ニ非スシテ文書ハ作製ヲ司掌スルハ義ト解セタルヘカラス隨テ第二百五條ハ所謂無形ノ文書偽造罪ヲ規定セタルモノトス然ラハ其偽造トハ如何ナルコトヲ又増減變換トハ如何ナルコトヲ謂フヤ曰ク例ヘハ登記官吏カ登記ノ請願ヲ受ケサルニ拘ラス私ニ甲者カ其地所ヲ乙者ニ賣渡シタルカ如クニ登記シタルハ登記原簿ノ偽造ニシテ甲者ヨリ乙者ニ十町歩ノ地所ヲ賣渡セタル旨ヲ登記スヘキコトヲ請願セラレタルニ十町歩ヨリ多ク若クハ少キ地所ヲ賣渡シタルカ如ク記載セ又ハ全ク之ヲ記載セス又ハ登記ノ日附ヲ異ニシテ記載シタルカ如キハ増減若クハ變換タリ如何ナル場合ニ於テ文書ノ作製ヲ管掌セリト謂フヲ得ヘキヤ 曰ク官吏其人ト他ノ諸般ノ事項トノ關係上官吏其人カ之ヲ作製スルノ職權ヲ有スル場合ニ

於テハ其作製ヲ司掌セリト謂フコトヲ得隨テ土地又ハ事項トノ關係上職權ナキトキハ勿論一時休職又ハ停職ト云フカ如ク之ヲ作製スル官吏タルノ身分ヲ失ハナルモ之ニ準フヘキ職權ヲ行使スルノ能力ナキ者ハ管掌ノ有様ニ在ルモノト謂フヲ得ス法律ハ管掌ニ係ルコトヲ必要トシ廣ク官吏ト云フ身分アル者ノ行爲ニ關スル明文ヲ置カサルカ故ニ一私人及ヒ他ノ官吏ハ勿論縱令之カ作製ヲ司掌スヘキ身分ヲ存スル者ト雖モ休職又ハ停職等ニ因リ職權ヲ行使スルコトヲ得サル間ニ爲シタル行爲ハ一私人ノ所爲タルモノトス

終ニ第二百五條官吏其管掌ニ係ル文書ヲ偽造變造シタル者ハ身分ニ因リテ罪ヲ構成スヘキ場合ナルヤ將タ刑ヲ加重スヘキ場合ナルヤ本間ハ無形ノ文書偽造罪ナルモノノ存在ヲ認ムルト否トニ依リテ決定ヲ異ニス或一派ノ學者ト共ニ我刑法ハ無形ノ文書偽造罪ヲ認メストセハ前者ニ決シ予輩ト共ニ無形ノ文書偽造罪ヲ認ムトセハ後者ニ決セサルヘカラス面シテ孰レニシテモ予輩ノ信スル所ニ依レハ身分ナクシテ之ニ加功シタル者モ身分アル者即チ管掌ノ職權ヲ濫用シテ偽造又ハ變造罪ヲ犯シタル者ト共ニ共犯トシテ有罪タリ唯前説

ヲ採レハ身分ナキ其犯者ニ對シテモ亦身分アル者ト共ニ第二百五條ヲ引用スヘク後説ヲ採用セハ身分アル者ニ對シテノミ第二百五條ヲ引用シ身分ナキ者ニ對シテハ單ニ第二百三條又ハ第二百四條ニ依ルヘク第二百五條ヲ引用スルコトヲ得サルノ差アルノミ

## 第二段 官文書毀棄罪

本罪ハ第二百二條第二百三條第二項及ヒ第二百五條第二項ヲ以テ規定シタルモノニシテ詔書及ヒ第二百三條ノ官文書ニ對シテノミ成立シ第二百四條ノ官文書ニハ成立セサルモノナリ換言セハ偽造罪トハ些カ其趣ヲ異ニスルモノアルカ故ニ予ハ法律ニ對スル觀念ヲ明瞭ナラシメンカ爲メ先ツ毀棄ノ何物タルヤヲ論定シテ變造トノ異同ヲ説明シ以テ彼ト異ナリタル規定ノ因リテ生スル所以隨テ彼ト異ナリタル成立要素ヲ認メサルヘカラサル所以ヲ明カニセント欲ス

毀棄トハ何ソヤ 曰ク文書ヲ毀損スルヲ謂フ文書ヲ毀損スルニ二法アリ文書

ヲ記載シタル物質其モノヲ有形的ニ毀損スルニ因リテ行ハレ若クハ記載タル文書ノミヲ無形的ニ抹殺スルニ因リテ行ハル然ラハ後ノ方法ニ依ル文書ノ一部ノ毀損全部ノ毀損ニ付テハ比較ノ要ナシト同一ノ形式ニ於ケル變造トノ區別如何曰ク毀棄ハ文書ヲ毀損ニ因リテ文書ノ證據力ヲ滅却スルモノニシテ變造ハ證據力ヲ發生セシムルモノナルカ故ニ其間性質上ニ大ナル區別アリ更ニ例ヲ以テ之ヲ説明セハ金千五百圓トアル文字中墨ヲ以テ五ノ字ヲ抹消シタル外形ノ行爲ハ毀棄ト變造トニ通シテ相同シト雖モ若シ夫レ之ニ由リテ千五百圓タラス千五百圓タラス換言スレハ何圓タルヤヲ明カナラサラシメタルトキハ即チ其證據力ヲ滅却セシメタルモノナルカ故ニ文書一部ノ毀棄タリ然レトモ若シ之ニ反シ千五百圓タラシメタルトキハ千五百圓ノ證據力ヲ變換シテ更ニ千五百圓ノ證據力ヲ發生セシメタルモノナルカ故ニ文書一部ノ變造タリ彼ノ或學者カ毀棄ハ文書ノ全部ニ關シ變造ハ一部ニ關スト云フカ如キハ未タ其區別ノ存スル所ヲ知ラサル者ノミ

右ノ如ク毀棄ハ證據力ヲ滅却セシメ偽造變造ハ證據力ヲ發生セシムルモノナルカ故ニ其行爲全ク相表裏セリ隨テ其之ニ依リテ直接ニ生スヘキ被害モ亦相表裏セリ換言スレハ一ハ之ヲ提示セラレタル者ノ確信ヲ害シ他ハ之ヲ提示シテ證據ニ供セント欲スル者ノ利益ヲ害ス確信ヲ害スルニ因リテ生スヘキ害ノ大小ハ證據力ノ大小ニ存シ證據ヲ提供セント欲スル者ノ利益ヲ害スルニ因リテ生スヘキ害ノ大小ハ之ヲ提供セントスル者ノ性質如何ニ存ス(國家ノ被ルヘキ害ハ一般ニシテ大ナリト雖モ一私人ノ被ルヘキ害ハ然ラズ)——雙方相對照同一ノ犯罪ニ付テ之ヲ謂フナリ然ラハ偽造罪ニ於ケル官、文、書、ト私、文、書、トハ之ヲ作製スル者ハ官吏タルハ私人タルハ依リテ區別セラレ毀棄罪ニ於ケル官、文、書、ト私、文、書、トハ之ヲ提供セント欲スル者ハ國家タルハ私人タルハ依リテ區別セラレ論ヲ煥タス法律カ第二百四條一私人ノ利益ノ爲メ一私人ニ下付ス可キ官、文、書、ニノミ限リ官、文、書、ノ毀棄罪ヲ認メス單ニ之ヲ第四百二十四條ニ屬スルモノトスル所以亦此ニ職由ス——本點ニ關スル立法上ノ論議ニ付テハ予輩モ亦說アリ今之ヲ說カス

附言 法文中其官、文、書、トアルハ前文ヲ承ケタルノ語ニ非ス單純ナル助字ノ

ミ詔書ハ一アリテ二ナキニ拘ラヌ第二百二條ニ其詔書下アルヲ見ルモ之ヲ知ルヘシ

以上説明セル所ニ據レハ本罪ハ下ノ要素ヲ以テ成立スルヲ知ルヘシ(意思ニ關スル點ハ省略ス)(一)官署カ證據トシテ保管スル文書作製者ノ官吏タルト私人タルトヲ問ハス(タルコト)(二)毀棄即チ其證據ヲ滅却スルノ所爲アルコト是ナリ處分ニ付テハ別ニ説明スヘキモノアルヲ認メサルカ故ニ之ヲ省ク  
以上ノ輩ハ官文書偽造罪ニ關スル説明ヲ了レリ尙ホ第二百六條第二百七條ヲ剩スト雖モ屢ニ説明シタル他ノ條項ト同一ナルカ故ニ之ヲ省略ス尤モ官印ヲ偽造又ハ盜用シテ官文書ヲ偽造シ依リテ財物ヲ詐取シタル場合ニ於テ第三百九十條第二項ト第二百六條ト其孰レヲ先ニ引用スヘキヤノ疑ヲ生スヘキモ論議ヲ要スヘキ程ノモノニ非サルカ故ニ之ヲ省ク)

又屢説明セル如ク明治二十三年法律第百號ニ依リ公署公吏ハ官署官吏ニ準セラルルカ故ニ茲ニ所謂官吏官文書ハ公吏公文書ニ適用セラル

## 第二項 私印私書ヲ偽造スル罪

法律ハ第四節ニ「私印私書ヲ偽造スル罪」ト題シ私文書偽造罪ノ外別ニ私印偽造罪ヲ規定セルカ故ニ之ヲ二段ニ分チテ説明スヘシ

### 第一段 私文書偽造罪

甲 本罪ノ構成 本罪ヲ構成スルニハ其偽造又ハ變造セラレタル文書カ私文書タルコトヲ要シ各條ニ該當スヘキ犯罪ヲ構成スルニハ各條項ニ記載シタル文書タルコトヲ要スルカ故ニ本罪ニ付テモ予ハ先ツ私文書ノ何物タルコト次ニ其種類ヲ説明スヘキモ私文書ノ何モノタルコトハ已ニ官文書ノ何モノタルコトヲ説明シタルニ因リテ之ヲ明カニスルコトヲ得ヘキカ故ニ本罪ノ構成ニ關シテハ單ニ其種類ノミヲ説明スヘシ

法律ハ官文書ニ於ケルカ如ク又私文書ヲ分チテ三種トセリ曰ク(一)流通證券(二)權利義務ニ關スル證書(三)權利義務ニ關セサル證書是ナリ

第一 流通證券 第二百九條ニ規定スル所ニシテ法律ニ爲替手形其他裏書ヲ以テ譲渡ス可キ證券若クハ金額ト交換ス可キ約束手形ト云ヘリ是レ畢竟商法上所謂流通證券若クハ信用證券ヲ列舉シタルニ過キナレハ規定自體特ニ沿革ノ上ニ於テ明瞭ナリ

(一) 爲替手形及ヒ約束手形 其ニ商法ノ所謂爲替手形約束手形ニ該當ス二者孰レモ金額ノ支拂ヲ目的トスル點ニ於テハ全ク同一ナリト雖モ爲替手形ハ甲ナル振出人カ乙ナル支拂人ニ對シ丙又ハ其指圖人若クハ手形持參人即チ受取人ニ一定ノ金額ヲ支拂自己ニ代リテフヘキコトヲ命令若クハ依頼シタル文言ヲ記載シタル證券約束手形ハ甲ナル振出人カ乙ナル受取人又ハ其指圖人若クハ手形持參人ニ一定ノ金額ヲ自ラ支拂フヘキコトヲ約束シタル文言ヲ記載シタル證券ナルカ故ニ爲替手形ニ在リテハ振出人ト支拂人トカ二人ノ間ニ分レ約束手形ニ在リテハ振出人カ同時ニ支拂人ヲ兼スルノ差アリ此他商法上ノ規定ニ依レハ寄托其他ノ方法ニ依リ銀行ニ對シテ繼續スル信用ヲ有スル者カ其銀行ニ依頼シ之ヲシテ記名セラレタル人又ハ指圖セラレタル人

若クハ所持人ニ其提示ヲ受ケ次第或一定ノ金額ヲ支拂ハレムル信用證券即チ小切手ト名タルモノアリ刑法ノ所謂爲替手形若クハ約束手形ノ中ニ入ルヘキカ將タ裏書ヲ以テ賣買スヘキ證券ノ中ニ入ルヘキヤ其金額ノ支拂ヲ目的トスル點ニ於テ其形式ニ於テ前二者ニ類スルカ故ニ前二者ノ内ニ入ルヘキモノトス然ラハ爲替手形ナルカ將タ約束手形ナルカト云フニ予ハ其第三者ヲシテ支拂ハシタル點ニ於テ爲替手形ニ酷肖スルカ故ニ爲替手形ニ入ルヘキモノト決定ス尙ホ手形ニ關シ商法第五百三十六條ニ左ノ場合ニ於テハ振出人ハ五圓以上十圓以下ノ過料ニ處セラル一資金ナク又ハ信用ヲ得シテ小切手ヲ振出タルトキ二小切手ニ虚偽ノ日附ヲ記載シタルトキト云ヘル明文アリ若シ廣ク無形ノ偽造ヲ認ムルノ主義ヲ採用セハ疎虞懈怠等ニ出テ惡意ナキトキハ商法ノ制裁ノミヲ科シ惡意アルトキハ商法ノ制裁ト刑法ノ所謂文書偽造罪ノ制裁トヲ併セ科スヘキモノト決定スルヲ當然ノ結果トス然レトモ予ハ先ニモ説明シタルカ如ク廣ク無形ノ偽造ヲ認ムルノ主義ヲ採用セサルカ故ニ惡意アル場合ト雖モ單ニ商法上ノ制裁ヲ加フルニ止ムヘキモノト決定ス是レ亦當然ノ結

行山經注

約ヲ第三者ト結ビタルカ如キ民法上常ニ之ヲ無効トスルノ制裁アルカ故ニ文



書ノ無形の偽造罪ヲ構成セスト雖モ爲替手形等ノ裏書ノ日附ヲ詐僞シ商業上特ニ信用ヲ重スヘキ證券ニ關シ最モ危險ナルカ故ニ例外トシテ之ヲ處罰セサルヘカラストノ理由ヲ以テ規定セラレタル佛國商法第三百十九條「裏書ノ日附ヲ廻ラシメタル者ハ偽造罪ヲ以テ論ス」トノ規定ニ胚胎シタルモノナルカ故ニ偏ニ破産者カ財産等ヲ脱漏セシメンカ爲メ破産以前ノ日附ヲ以テ手形又ハ證券ヲ裏書シテ第三者ニ交付スルノ行爲等即チ裏書ノ無形ノ偽造ノミヲ豫見シタルモノニシテ裏書ノ有形ノ偽造ヲモ包含セシメタルモノニ非スト主張スル者アルヘシト雖モ予ハ(一)佛文第一草案第二百四十條第一項及ヒ第二項ニハ明カニ有形ノ方法ニ依ル偽造、變造ヲ規定スルニモ拘ラス其第三項 *par le même moyen, aura frauduleusement endossé un desdits actes ou en aura touché le montant* (即チ前同)ノ方法ニ依リテ前項ノ手形證券ヲ詐僞ニ裏書シ又ハ之ニ依リテ金錢ヲ得タル者トアリテ有形の偽造ノ方法ヲモ包含セシメタルト(二)明文ニモ廣ク「詐僞ノ裏書トアリテ」詐僞ノ裏書ト云フ字面ハ必スモ無形ノ偽造ニ限ルト謂フヲ得サルト(三)有形ノ裏書ハ之ニ依リテ手形證券ニ虛僞ノ保證若クハ引受

ヲ作製シ容易ニ他人ノ信用ヲ誤ラシメ其害事口無形ノ偽造ヨリモ甚シキモノアルトニ據リ茲ニ所謂「詐僞ノ裏書」トハ右ニ所謂日附ヲ廻ラシムルカ如キ無形ノ偽造ハ勿論甲ヨリ乙ニ宛テテ振出シタルカ如クニ偽裝シタル虛僞ノ手形證券ニ乙ノ名義ヲ冒シテ自己ニ對スル裏書ヲ偽造シ以テ他人ヲ欺罔スルカ如キ有形ノ偽造ヲモ之ヲ包含スルモノト信ス然レトモ法律ハ單ニ「虛僞ノ裏書」ニミ限リ此例外ヲ設ケテ手形又ハ證券其モノノ偽造、變造ニ準スルカ故ニ手形又ハ證券其モノニ附記セラレ其危險手形、證券及ヒ其裏書等ニモ譲ラサル引受文ノ偽造、變造ト雖モ手形證券其モノ又ハ裏書ノ偽造、變造ニ非サルカ故ニ通常ノ證券トシテ第二百十條第一項ニ依ルヘク第二百九條ニ依ルコトヲ得サルモノトス(尤モ此等ノモノハ手形又ハ證券ト一體ヲ爲レ手形又ハ證券其モノナルカ故ニ直チニ第二百九條第一項ニ依リテ處斷セサルヘカラスト云フノ說アレトモ到底附會ノ論タルヲ免レズ)

人或ハ手形其他ノ流通證券ハ紙幣ト同シク一定ノ形式ヲ有シ此形式ニ依リテ流通スルモノ即チ商法上ノ有力ナル信用ヲ獲得スルモノナルカ故ニ通常ノ私

文書ト異ナリ商法ニ規定シタル一定ノ形式タニ變造セハ縱令虛偽ノ人ノ名義ヲ以テスルモ尙ホ本罪ヲ構成スト主張スル者アリト雖モ予ハ先ニ文書偽造罪ノ一般ノ成立要素ヲ説明スルニ當リ詳述シタル所ニ據リ之ヲ是認セス

右ト反對ニ若シ犯人ニ依リテ偽造變造セラレタル流通證券カ商法上流通證券トシテ有效ナルヘキ要件ヲ缺カスルモ他人ノ署名タニ之ヲ缺カサル場合ニ於テハ單純ナル私文書トシテ有效タルヲ妨ケサルモノナルカ故ニ第二百十條第一項ニ依リテ處斷セサルヘカラス

終ニ尙ホ右ニ揭ケタル方式ノ問題ニ關シ人或ハ流通證券ハ皆署名ヲ要シ其偽造ハ私印ノ偽造又ハ盜用ヲ想像スルモノナルカ故ニ流通證券ノ偽造ヲ以テ罰スヘキ場合ハ縱令私印ヲ偽造セテ使用シ又ハ盜用スルモ數罪俱發ヲ以テ論スルコトヲ得ス單ニ流通證券ニ關スル罪ノミナリト云フ者アリト雖モ流通證券ノ形式ヲ充タスカ爲メニハ必スシモ眞印ヲ要セス三文判ニテモ尙ホ之ヲ充タスコトヲ得ルカ故ニ予ハ數罪俱發ヲ以テ論スヘキモノト信ス

第二 權利義務ニ關スル證書 人或ハ法文ニ買賣貸借贈遺交換其他權利義務

ニ關スル證書トアリテ其例示スル所ノモノ皆財産權上ニ關スル契約事項ニ係ルカ故ニ第二百十條第一項所謂權利義務ニ關スル證書トハ總テ財産權上ニ關係ヲ有スル證書ノミヲ指スモノニシテ之ニ關係ヲ有セサルモノハ皆同條第二項ニ入ルヘキモノナリト主張スル者アリ成程佛文第一草案第二百四十一條ヲ按スルニ同條ニモ Toute fabrication ou falsification d'autres écritures privées, commerciales ou civiles, portant alienation, obligation ou libération de sommes ou de valeurs, sera puni d'un emprisonnement avec travail de 1 an à 5 ans et d'une amende de 10 à 50 yens. Les autres faux et falsifications d'écritures privées non comprises dans les désignations précédentes seront punis d'un emprisonnement avec travail de 1 mois à 1 an et d'une amende de 2 à 20 yens (即チ其他ノ民事又ハ商事ニ關スル私書ニシテ金額又ハ有價物ノ讓渡債務免除等ヲ記載シタルモノヲ偽造變造シタル者ハ一年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス右ニ指定セタル以外ノ私書ヲ偽造變造シタル者ハ一年以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス)トアリテ亦財産權上ノ權利義務ニ關スル證書ノミヲ指スカ故ニ論者ノ說或ハ立

法ノ起旨ニ適スルカ如キモ(二)若シ法文ニ其他財産上ノ權利義務トアレハ格別單ニ權利義務トアリテ權利義務ハ必スシモ財産權ニ限ラサルカ故ニ所謂買賣貸借ハ畢竟權利義務ニ關スル契約ノ主要ナルモノヲ例示シタルニ止マルト看ルヲ得ヘキト(一)苟モ權利義務ニ關スル以上ハ皆概テ重要ナル利害ノ存スルモノニシテ財産權上ニ關スルモノノミ獨リ重要ナリト謂フヲ得ス否人ノ榮譽自由等ニ關スルモノ往往ニシテ財産權ニ關スルモノヨリモ重要ナルモノアルト(三)第一項ト第二項トハ刑罰著シク其程度ヲ異ニシ第一項ニ規定セルモノト第二項ニ規定セルモノトハ殆ト比較スヘカラサル程其重要ノ度ヲ異ニスルコトヲ表示セルトニ據リ予ハ茲ニ所謂權利義務ニ關スル證書トハ權利義務ヲ證明スルコトヲ目的トシテ特ニ作製セラレタルモノ例ヘハ諸般ノ契約證書銀行又ハ會社ノ株券汽車運船ノ切符商品ノ切手受取書貨物ノ送狀委任狀一私人ヨリ發スル資格ノ證明書委任狀及ヒ資格ノ證明書ハ權能ヲ證明スルモノニシテ權能ハ體權利ハ用即チ人ニ附屬スル有様ト人カ他人ニ對スル有様トノ區別ニ過キササルモノナルカ故ニ權利ヲ證明スルモノト謂フヲ得等ヲ指スモノニシテ第

二項所謂其餘ノ私書トハ最初ヨリ權利義務ヲ證明スルカ爲メ作製セラレタルモノニ非ス偶々權利義務ヲ證明スルノ用ニ供セラルヘキ文書例ヘハ書桌宣言書屆書願書等ヲ指スモノトス  
第三 權利義務ニ關セラル證書 第二百十條第二項所謂其餘ノ私書ニシテ其何物タルコトハ前述ノ如シ

乙 本罪ノ處分

- (一) 流通證券ヲ偽造又ハ變造シテ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス刑重ク官文書ニ關スルモノト相同シキハ流通證券ハ紙幣等ト同シク最も信用ヲ重スルモノニシテ其偽造變造ニ由リテ生スル所ノ害官文書ト大差ナケレハナリ
- (二) 權利義務ニ關スル證書ヲ偽造變造シテ行使シタル者ハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
- (三) 其餘ノ私書ヲ偽造變造シタル者ハ一年以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス之ヲ區別セル所以ニ至リテハ更ニ說明ヲ要セ

## 第二段 私印偽造罪

予カ茲ニ私印偽造罪ト命スル所ノモノハ第二百八條全體ノ規定ニ對スルモノニシテ(一)所謂私印ヲ偽造スル罪(二)私印ノ影蹟ヲ盗用スル罪ノ二ヲ包含スルモノトス

第二百八條ノ規定ハ第九十四條以下官印ヲ偽造シ又ハ其影蹟ヲ盗用スル罪ト全ク同一ニシテ唯偽造罪ト盗用罪ヲ通シテ彼ハ官印タルモ此ハ私印タルモ偽造罪ニ付テ彼ハ單ニ偽造シ又ハ使用シタルノミヲ以テ罪ヲ構成スルモ此ハ偽造シテ使用スルニ非ナレハ罪ヲ構成セサルノ差アルノミ而テ予ハ已ニ官印ヲ偽造シ又ハ其影蹟ヲ盗用スル罪ヲ詳説シタルカ故ニ私印ノ何モノタルコト偽造ノ何モノタルコト影蹟盗用ノ何モノタルコトハ自ラ明瞭ナルノミナラス偽造ノミ又ハ使用ノミヲ以テ罪ヲ構成スル場合ト偽造シテ使用スルニ非サレハ罪ヲ構成セストスル場合ト異同ヨリ生スル結果例ヘハ他人ヲ偽造シタル私印タルコトヲ知リテ之ヲ使用スルモ罪ヲ構成セサルカ如シ等ニ付テハ從

本類似ノ犯罪ニ付テ屢説明シタル所ナルカ故ニ本罪ノ規定ハ更ニ説明スヘキ點アルヲ認メスト雖モ注意ノ爲メニ二三ノ説明ヲ試ミ以テ予カ見解ヲ明カニセント欲ス

第一 本罪モ亦文書偽造罪官印偽造罪ト同性質ノモノナルカ故ニ之ヲ構成スルニハ(一)他人ノ私印ニ係ルコト(二)之ヲ偽造シテ使用シ又ハ其影蹟ヲ盗用スルコト(三)害ヲ生シ得ヘキコト(四)害ヲ生セシムルノ意思アルコトノ四要素ヲ具備スルコトヲ要スヘキ點ニ付テノミ説明セン

一 他人ノ私印ニ係ルコトヲ要ス (一)自己ノ印モ亦私印ナリ而シテ法律ハ他人ノ私印ニ係ルコトヲ要スルカ故ニ自己ノ印ニ付テハ罪ヲ構成セズ(二)他人トハ廣ク自己以外ノ者ト云フノ義ト自己及ヒ或親族以外ノ者ト云フノ義トニ用ヒラル茲ニ所謂他人トハ二者孰レヲ意味スルヤ第三百七十七條ノ如ク明カニ或親族ニ對シテ用ヒラレタルカ故ニ前者ノ義ニ解スヘキモノトス隨テ一般ノ他人ハ勿論第三百七十七條特ニ限定シタル親密ノ關係アル親族ト雖モ亦茲ニ所謂他人タルヘシ故ニ其私印ヲ偽造シテ使用シ又ハ盗用セバ有罪トナラズ

得サルヘシ但シ次ニ所謂害ヲ生シ得ヘカラサルトキハ格別トス(三)法律ハ單ニ印ト稱シ別ニ制限スル所ナシ故ニ印トシテ文書等ニ記載シタル事實ヲ證明スルモノタルトキハ實印ト認印ト仕切判トニ論ナク罪ヲ構成ス

二 害ヲ生シ得ヘキコト及ヒ害ヲ生セシムルノ意思アルコトヲ要ス 印ハ通常文書ヲ證明スルカ爲メニ用ヒラル而シテ文書偽造罪ハ害ヲ生シ得ヘキコト及ヒ害ヲ生セシムルノ意思アルニ非スシハ構成セズ然ラハ若シ偽造ノ文書ニシテ害ヲ生スルコトヲ得タルカ若クハ害ヲ生セシムルノ意思ナキノ故ヲ以テ無罪タラハ印ノ偽造使用ノミ豈ニ唯リ有罪タルノ理アラシヤ(尤モ是レ共犯又ハ一人ノ犯人カ私書ノ偽造行使ト私印ノ偽造使用若クハ盜用トヲ兼テタル場合ヲ舉ケテ説明シタルナリ)第三者ノ惡意ヲ以テ作製シタル害ヲ生シ得ヘキ文書タルコトヲ知ラスシテ害ヲ生セシムルノ意思ナク之ニ他人ノ印ヲ盜用シタル場合(第三者ノ惡意ナク作製シタル害ヲ生シ得ヘカラサル文書タルコトヲ知ラスシテ害ヲ生セシムル意思ヲ以テ之ニ他人ノ印ヲ盜用シタル場合)其他種種ノ場合ニ付テモ亦同一ノ理論ヲ應用シテ推究ヲ試ムヘシ其特別ノ適用トシテ

第三百七十七條ニ記載シタル親族ノ印ヲ偽造行使シ又ハ盜用シテ其私文書ヲ偽造シ之ヲ行使シテ其財產ヲ詐取セントシタル場合ニ於テハ法律ハ第三百九十八條ニ依リ其詐欺取財ヲ無罪トス之ヲ無罪トスルハ後ニ至リ財產ニ對スル罪ノ章ニ於テ説明スル如ク畢竟害ナシトスルモノナリ若シ夫レ財產詐取ノ行為カ害ヲ生セサルモノトスレハ其之カ爲メニ用ヒラレタル偽造文書ハ害ヲ生シ得ヘカラサルモノナリ害ヲ生シ得ヘカラサルモノトスレハ文書偽造行使ハ無罪ナリ文書偽造行使ヲ無罪トスレハ印ノ偽造行使又ハ盜用モ亦害ヲ生シ得ヘカラサルモノニシテ無罪タラサルヲ得ス然ラハ縱令私印ヲ偽造行使又ハ盜用シテ文書ヲ偽造スルモ其印其文書カ第三百七十七條ノ親族ニ係リ且ツ其害惡ト見ルヘキ目的カ此等親族ノ財物ヲ詐取スルニ在ルトキハ常ニ全ク無罪ト謂ハサルヲ得ス蓋シ最モ情理ニ適スルモノトス彼ノ普通ノ學者又ハ實際家カ往往文書及ヒ印ニ付テハ第三百九十八條ノ如キ特例ナキカ故ニ財產詐取ノ行為ハ無罪タルモ文書及ヒ印ニ對スル犯行ハ無罪タルヲ得スト云フカ如キ論決フ以テ忍フヘカラサルニ至ル所以偏ニ此等ノ法理ヲ推究セサルノ罪ニ坐ス但

シ文書又ハ印ハ單ニ其形式ヲ偽造シテ之ヲ行使シタルノ所爲若クハ真正ノ文書又ハ印ナリト人ヲ欺クノ意思ヲ以テ事實又ハ印ノ眞實ヲ偽ルノ所爲アレハ罪ヲ構成スルモノニシテ害ヲ生シ得ヘキコトヲ要セストノ主義ヲ採ルカ若クハ親族相盜ヲ罪セサルハ無罪即チ罪ヲ構成セザルカ故ニ非スシテ免刑スルニ過キストノ説ヲ採レハ格別トス

第二 明文上特ニ眞ナル點ヲ除クノ外犯罪ノ形式及ヒ性質共ニ官印ノ偽造及ヒ盜用罪ト同一ナルカ故ニ總テ官印ノ偽造及ヒ盜用罪ニ關スル法理ヲ適用シテ解釋スヘキモノトス隨テ或學者カ私印ノ偽造ハ官印ノ偽造ト異ナリヲ必スシモ印類ヲ作ルコトヲ要セス其影蹟ノミヲ模擬シテ使用セハ罪ヲ構成ス眞印ヲ模擬スルコトヲ要セス第三者ヲシテ捺印者ノ眞印ナリト誤信セシメ得ヘキモノナラハ罪ヲ構成ス實際印主カ存在又ハ存在セキコトヲ要セス假設ノ人タルモ罪ヲ構成スト云フカ如キハ予ノ探ラサル所ナリ請フ聊カ之ヲ論ゼン  
論者曰ク法律カ官印ニ付テハ偽造ノミヲ以テ直チニ罪ヲ構成ストスルニモ拘ラス私印ニ付テハ偽造シテ更ニ使用スルニ非スンハ罪ヲ構成セストシタルハ

是レ官印ハ眞物ト誤認スヘキ影蹟ヲ現ハスニ足ル物品ノ存在スルヲ斷レ私印ハ之ヲ押捺シタル書類ニ容易ニ信用ヲ置タテ恐レタルニ職由スルモノニシテ官印ハ法律上漫ニ變改スルコトヲ得ナル規定ノ下ニ於テ一ニシテ數箇アルコトナク其大小形狀等モ亦一定セリ之ニ反シテ私印ハ實印ヲ除クノ外其數大小形狀文字肉色等ニ制限ナク又其證據力モ實印ト敢テ異ナラス此二點ニ著シキ相違アルカ故ニ私印ハ官印ト異ナリテ(一)印類ヲ製セザルモ私印ノ影蹟ノミヲ模擬シテ之ヲ信用セシムレハ罪ヲ構成シ(二)眞印ヲ模擬セザルモ他人ヲシテ眞印ナラント誤信セシムルニ足レハ罪ヲ構成シ(三)偽造セラレタル人カ事實假説ノ人タルニ過キサルモ罪ヲ構成スト曰ヘリ岡田氏刑法論各論ノ部三五一夫レ然リ豈ニ夫レ然ランヤ(一)官印ハ偽造ノミヲ以テ罪ヲ構成ストシ私印ハ使用スルニ非スンハ罪ヲ構成セストシタリト直チニ一ハ偏ニ現物ノ存在ヲ恐レ他ハ然ラストノ理由ハ果シテ那邊ヨリ由來スルヤ現ニ法律ハ詔書ト他ノ官文書トノ間ニ於テモ亦同一ノ差異ヲ設クルニ非スヤ詔書ニ付テハ現物ノ存在ヲ恐レ他ノ官文書ニ付テハ現物ノ存在ヲ恐レサルカ(二)現今ノ制度ニ於テハ官印ト

雖モ敢テ紙幣ノ如ク豫メ官報等ニ由リテ其形象ヲ公示スルニ非ズ人ノ見テ以テ確信ヲ置ク所以ノ本體即チ形象ハ事實上官印其モノヲ目撃シタル者ニ非ズンハ之ヲ知ルコトナシ故ニ人カ偽造ニ因リテ欺カレルノ形式ハ毫モ私印ニ於ケルト異ナル所ナシ論者ハ官印ハ一箇ニシテ一定シ私印ハ數箇ニシテ不定ナルカ故ニ差異アリト云フト雖モ予ヲ以テ之ヲ觀レハ一ハ單純ニシテ他ハ複雜ナルノミ其間法理上毫末ノ差異アルヲ認メス如何トナレハ一ハ一箇ニシテ一定シ他ハ數箇ニシテ不定ナリト云フコトハ一ハ從來使用セラルルモノカ眞印ナリト云フコトニシテ論理的ニ比較セハ本人ノ使用シタル過去ノ印影ハ已ニ一定シテ官印ト異ナラス唯數ノ上ニ於テ官印ヨリモ數多ナルノミ然ラハ剩ス所ハ本人ノ將來使用セントスル物カ官印ノ如ク一定ナラスト云フニ在リテ將來使用セントスル物カ不定ナリト云フコトハ官印ニ付テモ必スシモ變換セラレルコトナシト謂フヲ得ナルカ故ニ磨滅其他ノ出來事等アリテ亦之ヲ謂フコトヲ得ヘタ結局程度ノ差異ニ歸著スレハナリ(三)論シテ茲ニ至ラハ一ハ公ノ官府カ使用スル印ニ係リ他ハ私人ノ使用スル印ニ係ルト云フノ差異アルノミ之ヲ

偽造シテ人ヲ欺クノ形式若クハ性質ニ於テハ毫末ノ差異アルコトナシ此點ニ差異ナキカ故ニ毫モ論者ノ言フカ如ク其規定ノ適用ヲ異ニスヘキ理由アルコトナシ其法律カ官印ニ付テハ偽造ノミヲ以テ罪ヲ構成ストシ私印ニ付テハ行使ノ所爲アルニ非ズンハ罪ヲ構成セストシタルハ一ハ因リテ生スヘキ害惡大ナルカ故ニ特ニ害惡ヲ未發ニ防止センカ爲メ未ダ害惡ノ發生セザルニ先テ之ヲ罰ストシ他ハ普通ノ原則ニ依リ損害ノ生セントスルヲ待チテ之ヲ罰ストシタルモノニシテ要スルニ其因リテ生スヘキ害惡ノ大小ヲ想像シテ寬嚴ノ差ヲ設ケタルノミ(四)又論者カ濫ルヘキノ根據ナキニ拘ラス漫然一ハ現物ノ存在ヲ恐レ一ハ書類ニ信用ヲ置クヲ恐レタルナリ云云ト云フカ如キ囁語ヲ發シタル所以ノモノハ畢竟其後段所謂官印ハ一箇ニシテ一定シ私印ハ數箇ニシテ不定ナリト云フカ如キ漠然タル思想先入主ト爲リタルニ由ルモノトス(五)以上論述シタル所ニ據リ予ハ彼等論者ノ誤謬ヲ正スト共ニ官印タルト私印タルトニ依リテ偽造ニ關スル規定ノ適用ヲ異ニスヘキ理由ナキコトヲ説明シタル然ラハ官私印共ニ如何ナル程度ニマテ偽造セハ罪ヲ構成スヘキカ(蓋用ニ付

屈出



ツルノ慣習アリキ證書ニハ必ス實印ヲ用ヒ實印ハ必ス之ヲ管轄官廳ニ届出ツ迂ハ迂ナリト雖モ其用意スル所豈ニ周到ナリシニ非スヤ然ルニ歐米ノ文化漸々我國ニ浸潤スルニ至リ未タ彼ニ行ハルル署名ノ方法ヲ採用セサルニ先テ我實印ノ良慣習ヲ合テ之ヲ土芥視シ之カ取締ニ關スル法令亦渾渾ノ中ニ雲散霧消竟ニ印章ノ用ヲ重シテ制定セラレタル刑律ト相適合セサル不規律不整頓ナル社會ヲ現出シ其極法ヲ適用セント欲スルモ得ヘカラサルカ如キ多數ノ惡漢ヲ輩出セシムルニ至リシナリ之ヲ是レ顧スシテ安ニ法ノ解釋ヲ曲ケ若クハ罪ヲ正當ナル解釋者ニ委セントス何ソ其無法ナル然ラハ今ノ世ニ當リテ之ヲ救済スルノ方法如何再ヒ明治初年ノ制度ヲ採用シ其當時ノ舊慣ヲ再演スヘキヤ將タ外國ノ如ク署名ノ方法ヲ採用スヘキヤ曰ク完全ヲ希ハハ私印ニ付テハ二者其ニ之ヲ採用シ印章ト署名ト其一ヲ缺カハ之ヲ無効トスルト同時ニ現今將ニ發達セントスル登記ノ法則ヲ採用シ或制限ノ下ニ於テ私人ノ用ヒント欲スル丈ノ印章ヲ登記セシムルヲ可トス然レトモ現今ノ取引ノ頻繁ナル到底此ノ如キ迂遠ナル方法ニ依ルヲ得ス兩者孰レカラ探ラサルヘカラサラン然ラハ

孰レヲ採用スヘキヤ曰ク印章ハ同一ノ手腕ヲ以テスルモ再ヒ同一ノモノヲ作製スルコトヲ得スト云フノ說アルノミナラス必スシモ本人ニ依ルヲ要セサルノ便アリ之ニ反シテ署名ハ太古ノ遺俗ニシテ其觀念極メテ幼稚本來變換シ易キヲ原則トシ其真偽極メテ判別シ易カラサルモノアルノミナラス必ス本人ヲ要スルノ不便アリ故ニ前者ヲ採用シテ之ヲ登記セシメ商人ノ如キ取引ノ煩劇ナル者ハ豫メ多數ノ印鑑證明ヲ得之ヲ取引先ニ送付シ置カハ希クハ安全ニシテ且ツ取引ノ敏活ヲ妨タルカ如キコトナカラシ官印ニ付テハ官報ニ掲載シテ公示スルヲ可トス

以上余輩ハ私文書偽造罪ニ關スル規定ヲ説明セリ尙ホ第二百十一條第二百十二條ノ規定ヲ剩スト雖モ例ニ依リテ之ヲ省ク

### 第三項 特種ノ官私文書ヲ偽造スル罪

予カ茲ニ特種ノ官私文書ヲ偽造スル罪ト題スル所ノモノハ法律所謂第五節免狀鑑札及ヒ疾病證書ヲ偽造スル罪ニ相當ス之ヲ特種ノ官私文書ト謂フ所以ハ

畢竟免狀及ヒ鑑札ハ官府カ一私人ノ爲メニ下付スル所ノモノニシテ官文書中所謂公證文書ノ一種ニ屬シ疾病證書ハ間接又ハ直接又ハ利害得失ニ關スル事項即チ權利義務ニ關スルコトヲ證明セシムル爲メ特ニ作製セラルモノニシテ私文書中所謂權利義務ニ關スル證書ノ一種ニ屬スルモ法律ハ其偽造又ハ變造ニ因リテ生スル害惡甚タ輕微ナルヨリ特別ノ場合ニ非サレハ之ヲ罰セストシ普通ノ官私文書ヨリ分離シテ特別ノ制裁ヲ付シタルニ因ル

右ニ說明シタル如ク其特種ナルノ點ハ單ニ制裁ヲ異ニシタルニ在リテ文書タルノ性質ニ於テハ毫モ之ヲ缺クコトナキカ故ニ文書偽造罪ニ必要ナル一般ノ成立要素ハ本罪ニ於テモ亦之ヲ具備スルコトヲ要スルモノトス隨テ本罪ヲ構成スルニハ(一)免狀、鑑札又ハ疾病證書ニ係ルコト(二)之ヲ偽造、變造シテ行使シ又ハ官廳ヲ欺キテ之カ下付ヲ受ケタルコト(三)害ヲ生セシムルコトヲ得ヘキコト(四)害ヲ生セシムルノ意思アルコト詳言スレハ依リテ法律ノ許ササル職業其他ノ行爲ヲ爲シ又ハ法律ノ要求シタル役務ヲ免レントシタルコトノ四要素ヲ具備スルコトヲ要ス

以下更ニ(一)免狀、鑑札ヲ偽造スル罪ト(二)疾病證書ヲ偽造スル罪トニ分テテ說明スル

### 第一段 免狀、鑑札ヲ偽造スル罪

茲ニ免狀、鑑札ヲ偽造スル罪ト命名スルモノハ第二百十三條、第二百十四條及ヒ第二百十七條ニ相當ス

第二百十三條ニ曰ク官ノ免狀又ハ鑑札ヲ偽造シテ行使シタル者ハ一年以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但官印ヲ偽造シ又ハ盗用シタル時ハ偽造官印ノ各本條ニ照シテ處斷ス[第二百十七條ニ曰ク免狀、鑑札及ヒ疾病ノ證書ヲ増減、變換シテ行使シタル者ハ亦偽造ノ刑ニ同シ]第二百十四條ニ曰ク族籍身分氏名ヲ詐稱シ其他詐僞ノ所爲ヲ以テ免狀、鑑札ヲ受ケタル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス官吏情ヲ知テ其免狀、鑑札ヲ下付シタル者ハ一等ヲ加フ下

第二百十三條及ヒ第二百十七條ハ偽造、變造シテ行使シタル者ヲ第二百十四條

ハ詐偽ノ所爲ヲ以テ免狀鑑札ヲ受ケタル者及ヒ官吏情ヲ知リテ之ヲ下付シタル者ヲ規定ス通シテ免狀鑑札ニ係ルカ故ニ予ハ先ツ免狀鑑札ノ何モノタルコトヲ説明シ次ニ各條項ニ特殊ナル點ヲ説明スヘシ然レドモ二十條以下ノ各條項第一 免狀鑑札ノ定義 法律ニハ單ニ免狀鑑札トアリテ其如何ナル物タルヤハ之ヲ例示セナルカ故ニ抽象的ノ説明ヲ以テ之ヲ確定スルコト極メテ困難ナリト雖モ今法律ノ明文ト他ノ條項トヲ對照シテ之ヲ按ズルニ(一)先ツ明文ニハ官ノ免狀又ハ鑑札トアルカ故ニ其官文書タルコト論ナシ(二)然ラハ如何ナル官文書ナルカト云フニ先ニモ説明シタルカ如ク免狀鑑札ハ一私人ノ利益ノ爲メ其私人ニ下付スルモノナルカ故ニ公證文書ノ一種ニ屬スルコト疑ヲ容レス(三)然ラハ第二百四條ニ所謂公證文書ノ中ニ入ルヘキモノト免狀鑑札トノ區別如何曰ク第二百四條ニ於テハ公證文書トシテ公債證書及ヒ地券等債權ヲ有シ又土地ヲ所有スルコト云フカ如キ事實ヲ公證シタル文書ノミヲ列舉シタルニ依リテ之ヲ觀レハ第二百四條ニ所謂公證文書トハ事實即チ同一ノ人ニ付テモ時ト場所トヲ異ニスル毎ニ變動スヘキ一ノ關係ニ付テ公證シタルモノ隨テ其文書モ

亦一様ノ形式ヲ有スヘカラサルモノヲ總括シ免狀鑑札トハ事實以外即チ時ト場所トヲ異ニスル毎ニ變動スルコトナク常ニ一定ノ地位ヲ有スル人ニ附著スル一定ノ有様ニ付テ公證シタルモノ隨テ其文書モ亦一様ノ形式ヲ有スルコトヲ得ヘキモノヲ總括シタルモノト信ス然ラハ免狀ト鑑札トノ區別如何此點ハ利便ニ關係ナキカ故ニ區別ノ實益ナキノミナラス其區別尙ホ一層困難ナリト雖モ強テ之ヲ試ミナハ免狀トハ之ニ依リテ法律カ一私人ニ或行爲ヲ爲スコトヲ得ルノ資格ヲ付與法律カ必要ト認メタル者又ハ豫メ要求シタル條件ヲ充タシタル總テノ者ニシタルモノニシテ例(一)醫師、藥劑師又ハ踏鐵工等ノ免狀狀中小學教員免狀西洋船ノ船長運轉手機關手又ハ水先人ノ免狀狀旅行免狀狩獵免狀等其他官公立學校又ハ官廳ニ於テ行ヒタル試験ノ合格者ニ付與スル合格證書等ヲ謂ヒ鑑札トハ行政、取締、上或行爲ヲ爲シ又ハ爲スコトヲ許シタル者ニ交付シ置キ以テ調査ノ便ニ供シタルモノニシテ例(二)各種ノ營業鑑札荷車人力車自動車等ノ鑑札宮内省ノ門鑑等ヲ謂フモノトス

第二 第二百十三條及第二百十四條ノ特殊ナル點ニ付テ

(一) 第二百十三條ニ付テ (一) 法律ニハ單ニ偽造シテ行使セラル者トアリテ知覺行使ヲ罰スルノ規定ナキカ故ニ他人ノ偽造セルモノタルノ情ヲ知リテ行使シタル者ハ偽造者ノ其犯ニ非サレハ無罪トス (二) 茲ニ所謂行使トハ果シテ如何ナルコトヲ意味スルヤ換言スレハ縱令其用法ニ從ヒテ行使セサルモ猶ホ之ヲ行使ト謂フコトヲ得ヘキヤ同性質ノ犯罪ヲ規定シタル第二百十五條ニ「公務ヲ免カル可キ爲メ」トアリ其目的ヲ限定スルト特別ノ規定タルトニ依リテ之ヲ觀レハ用法ニ從ヒテ行使シタル場合ニ非サレハ茲ニ所謂行使タルコトヲ得サルモノトス隨テ例ヘハ虛偽ノ免狀ヲ呈示シテ人ノ信用ヲ誤ラシメ依リテ金錢ヲ借入レ又ハ詐取スルカ如キハ他罪タルハ格別本罪ヲ構成セサルモノトス (三) 但官印ヲ偽造シ又ハ盜用シタル時ハ偽造官印ノ各本條ニ照シテ處斷ストアルカ故ニ但書ノ行爲アルトキハ偽造官印各本條ノ罪ト爲リ本罪ハ其中ニ吸收セラレ彼ノ重キニ從テ處斷ストアル規定ト趣ヲ異ニス注意スヘキナリ單ニ處斷スト官ヒテ重キニ從ヒ云云ト言ハサルハ彼常ニ重ケレバナリ

(二) 第二百十四條ニ付テ

(一) 法文所謂屬籍身分氏名ヲ詐稱スルハ詐僞ノ所爲ノ一例ニ過キス故ニ其他例ヘハ年齡ヲ詐リテ娼妓出稼ノ鑑札ヲ受タルカ如キ他人ノ作製シタル論文ヲ提出シテ試験ヲ受ケ其合格證書ヲ得タルカ如キ皆所謂詐僞ノ所爲タリ (二) 他人ノ替玉ト爲リテ試験ヲ受ケ又ハ娼妓出稼ノ出願ヲ爲シ依リテ合格證書又ハ娼妓出稼ノ鑑札ヲ受ケタルカ如キハ縱令他人ノ爲メニスル者ト雖モ自己ニ屬スルコトヲ詐リ自ラ直接ニ合格證書又ハ娼妓出稼ノ鑑札ヲ受タル者ナルカ故ニ其有罪タルヲ論フ埃タスト雖モ (三) 若シ他人ノ代人タルコトヲ明言シタル者カ本人ノ爲メ本人ニ屬スル屬籍身分氏名等ヲ詐リ依リテ免狀鑑札ヲ受ケタルトキハ如何仍ホ本罪ノ犯人トシテ處罰スルコトヲ得ヘキヤ予ハ (イ) 法文單ニ詐僞ノ所爲ヲ以テ免狀鑑札ヲ受ケタル者トアリテ明カニ他人ノ爲メニ受タル場合ヲ除外セサルノミナラズ (ロ) 本規定ハ一箇ノ取締法ニ屬シ (他國ニ於テハ違警罪ト爲スモノスラアリ) 取締法ハ成ルヘク取締ヲ完全ナラシムル様ニ解釋セザルヲ解釋法ノ原則トスルカ故ニ積極論ヲ主張セント欲ス但シ有力ナル反對論アルコトヲ想像ス (四) 官吏情ヲ知シ其免狀鑑札

ヲ下付シタル者ハ一等ヲ加シテ下付ノ所謂知情トハ其犯非其犯ニ通スル語ナルカ故ニ官吏知情下付ノ事實アルニ於テハ其犯タルト否トニ關セス之ニ依リテ處斷スヘキモノトス然レトモ茲ニ所謂知情トハ如何ナルモノヲ謂フヤ換言スレハ一私人ニ惡意アルノ情ヲ知ルコトヲ要スルカ將タ單ニ其眞實ニ非タルコト隨テ下付スヘカラサルノ情ヲ知ルヲ以テ足ルカ予ハ官吏云云ノ項ハ次項ノ犯罪ニ附隨シタル者ヲ規定センカ爲メニ追加セラレタルニ非ス官吏ノ方面ニ於ケル前項ノ犯罪ヲ規定センカ爲メニ附記セラレタルモノニシテ知情云云ハ文章ヲ節略シタルニ過キサルモノナリト信スルカ故ニ後説ヲ主張セント欲ス但シ亦有力ナル反對論アルコトヲ想像ス

## 第二段 疾病證書ヲ偽造スル罪

本段モ亦前例ニ依リ第二百五條、第二百十六條及ヒ第二百十七條ニ對當ス第二百五條ニ曰ク「公務ヲ免カル可キ爲メ醫師ノ氏名ヲ用ヒ疾病ノ證書ヲ偽造シテ行使シタル者ハ自己ノ爲メニシ他人ノ爲メニスルヲ分タス一月以上一年

以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス」醫師囑託ヲ受ケタ其詐僞ノ證書ヲ造リタル者ハ一等ヲ加テ第二百十六條ニ曰ク「陸海軍ノ徵兵ヲ免カル可キ爲メ疾病ノ證書ヲ偽造シテ行使シタル者及ヒ囑託ヲ受ケタ其詐僞ノ證書ヲ造リタル醫師ハ前條ノ例ニ照シ各一等ヲ加テ第二百十七條ニ曰ク「免狀鑑札及ヒ疾病ノ證書ヲ増減變換シテ行使シタル者ハ亦偽造ノ刑ニ同シ」ト第二百十五條ハ公務ヲ免ルヘキ爲メ第二百十六條ハ徵兵ヲ免ルヘキ爲メ疾病證書ヲ偽造シタル場合ヲ、第二百十七條ハ之ヲ變造シタル場合ヲ規定シ何レモ通シテ疾病證書ニ保ルカ故ニ先ツ疾病證書ノ何モノタルコトヲ一言シ次ニ各條項ニ特殊ナル點ヲ説明セント欲ス

第一 疾病證書トハ診斷證ノ名ヲ以テスルト檢察書ノ名ヲ以テスルト將タ鑑定書ノ名ヲ以テスルトヲ問ハス凡テ醫師カ人ノ健康ニ關スルコトヲ證明スルカ爲メニ作製スル所ノ文書ヲ謂フ健康ニ關スルコトヲ要スルカ故ニ死亡ニ關スル證明書又ハ死體檢案書等ノ如キハ之ヲ包含セス  
第二 第二百五條及ヒ第二百十七條ノ特殊ナル點ニ付テ

第二百十五條ニ付テハ(一)公務トハ例ヘハ官署ヨリ命セラレテ解剖又ハ鑑定ヲ爲シ若クハ裁判所ノ召喚ヲ受ケ證人トシ陳述ヲ爲スカ如キ凡テ公益ノ爲メ一私人カ國家ニ助力スヘキ公ノ役務ヲ謂ヒ官吏又ハ公吏ノ職務ヲ謂フニ非ズ隨テ第二編第三章第九節所謂公務ト同一ナリト雖モ法律ハ次條更ニ徵兵ニ關スルモノヲ規定スルカ故ニ茲ニ所謂公務中ニハ徵兵ヲ含マサルモノトス(二)法律ハ公務ヲ免脱セシカ爲メタルコトヲ要スルカ故ニ縱令醫師ノ疾病證書ヲ偽造行使スルモ例ヘハ官職又ハ公職ヲ免レンカ爲メ若クハ恩給局ヲ欺キテ恩給ヲ得ンカ爲メ若クハ親族知友ヲ欺キテ助力ヲ得ンカ爲メ等茲ニ所謂公務ヲ免ルルカ爲メニ非サルモノハ本罪ハ勿論一般私文書ノ偽造行使罪ヲモ構成セサルモノトス一般ノ私文書ヨリ之ヲ除外シ此目的アルニ非スシテ罪トシ罰セストモタルノ結果ナリ蓋シ若シ反對ノ解釋ヲ許サハ(イ)疾病證書ハ先ニモ説明シタルカ如ク第二百十條第一項ニ入ルヘキモノニシテ公務ヲ免ルルカ爲メニ行使セラレタル場合ヨリモ情ノ輕カルヘキ場合ニ却テ重刑ヲ科セサルヘカラサルノ結果ヲ生スルノミナラス(ロ)縱令一步ヲ譲リ第二百十條第二項ニ入ルルヘキモノトス

ルモ同項ト第二百十五條トノ間ニ於ケル刑罰ノ上ニ於テ大差アレハ格別僅ニ附加罰金ノ點ニ於テ些少ノ差アルノミナルカ故ニ法律ハ徒爾ニ多數ノ法條ヲ設ケタルコトト爲レハナラ(三)醫師ノ氏名ヲ用ヒタルカ故ニ醫師ノ肩書ヲ用ヒタルトキハ勿論縱令之ヲ用フルモ醫師ニ非サル者ノ氏名ヲ用ヒタルトキハ無罪タリ蓋シ疾病證書ハ醫師ノ作製シタルモノニ非サレハ效力ヲ有セサルカ故ニ前者ノ場合ニ於テハ方式ノ上ニ於テ全然無效後者ノ場合ニ於テハ醫師トシテハ存在セサルモノナルカ故ニ虛無ノ人名ヲ用ヒタルト一般亦無效ナレハナリ(四)自己ノ爲メニシテ他人ノ爲メニスルヲ分タルカ故ニ犯人自ラ自己ノ從事スヘキ公務ヲ免ルヘキ爲メタルト他人ヲシテ其從事スヘキ公務ヲ免レシムル爲メタルトヲ問ハス本條ノ罪人タリ然ラハ醫師自ラ自己ノ從事スヘキ役務ヲ免レンカ爲メ自己ノ名ヲ以テ自己ノ疾病證書ヲ偽造シタルトキハ如何人或ハ有罪ナリト主張スル者アリト雖モ前ニモ説明シタルカ如ク自己ノ爲メニ自ラ作リタル文書カ無形ノ偽造トシテ有罪タルヘキ場合ハ法律カ豫メ其事ノ信實ナルヘキコトヲ要求シタル場合ニ限ルモノニシテ本問ノ如キ一般ノ場合ニ於

テハ自己ニ關スルコトハ自ラ之ヲ證明スルコトヲ得ストノ原則ニ據リ其文書ハ毫モ證據力ヲ有セサルカ故ニ無罪タルヘキモノトス(五)醫師囑託ヲ受ケテ其詐僞ノ證書ヲ造リタル者ハ一等ヲ加フトアリ是レ無形ノ文書偽造罪ヲ規定シタルナリ蓋シ醫師ハ公益ニ關スル業務ヲ執ル者ナルノミナラス疾病ノ有無輕重ハ偏ニ醫師ニ由リタノミ之ヲ知ルモノニシテ之ヲ嚴罰セスンハ其害言フヘカラサルモノアレハナリ(六)囑託ヲ受ケタルコトヲ要スルカ故ニ若シ進ミテ之ヲ爲シタルトキハ前項ニ依ル刑罰ト權衡ヲ失スルモ蓋シ立法者ノ豫見セサル所ニシテ法ノ缺點トシテ注意スヘキモノトス

二 第二百十六條ニ付テ(一)陸海軍ノ徵兵ヲ免ルヘキ爲メタルコトヲ要スルカ故ニ他ノ目的ノ爲メニスル場合ハ無罪ナリトス詳細ハ前項ニ於テ已ニ之ヲ說明セリ(二)陸海軍ノ徵兵ヲ免ルヘキ爲メナルカ故ニ第百七十八條ト相衝突ス相衝突シテ彼ハ廣ク詐僞ノ所爲ヲ用ヒタル場合ヲ規定シ此ハ詐僞ノ特別ナル方法ヲ用ヒタル場合ヲ規定スルカ故ニ普通法ト特別法トノ如キ關係ヲ呈ス故ニ疾病證書ノ偽造行使ニ依ルモノハ本條ニ依リ其他ノ詐僞ニ依ルモノハ彼ニ依ルニ

#### 第四節 偽證罪

凡ソ裁判官ハ自己ノ私ニ知覺シタル所ノモノニ依リ漫然判斷ヲ下スコトヲ得ス必スヤ諸般ノ證據ヲ蒐集シ之ニ憑テ正確ナル判決ヲ爲ササルヘカラス然リ而シテ其所謂證據ハ物證ト人證トノ二ニ歸著スルモノニシテ二箇ノモノ共ニ神聖公平ナル判決ヲ下スニ必須ノ要件トス然ラハ若シ夫レ私人カ無責任ニ物證ヲ隱匿又ハ滅失シ或ハ證言ヲ拒ミ又ハ之ヲ爲スモ眞實ヲ吐露セサルコトヲ得ルトキ(物證ニ付テ言ヘハ虛構ノ物證ヲ差出シタルモノ而シテ法律ハ之ヲ規定セス亦缺典タリ)ハ裁判ノ公平ハ竟ニ得テ望ムヘカラサルニ至ルヘシ是ニ於テヤ法律ハ此等ノ行爲ニ對シ十分ナル刑罰裁制ヲ設ケ以テ箇人ヲシテ曾ニ之ヲ阻害セサルノミナラス進ミテ正實ナル助力ヲ國家ニ致サシメサルヘカラス是レ他ノ規定罪證ヲ隱蔽スル罪ト證言又ハ鑑定ヲ拒ム罪トノ規定ト共ニ第六節偽證罪ノ規定アル所以トス

## 第一款 成立要素

第二百十八條ニ曰ク「刑事ニ關スル證人トシテ裁判所ニ呼出サレタル者被告人ヲ曲庇スル爲メ事實ヲ掩蔽シテ偽證ヲ爲シタル時」第二百二十條ニ曰ク「被告人ヲ陷害スル爲メ偽證ヲ爲シタル者」第二百二十三條ニ曰ク「民事商事又ハ行政裁判ニ關シテ偽證ヲ爲シタル者」第二百二十四條ニ曰ク「鑑定又ハ通事ノ爲メ裁判所ニ呼出サレタル者詐僞ノ陳述ヲ爲シタル時」ト

即チ偽證罪トハ民事商事又ハ行政裁判ニ關シテ證人、鑑定人、通事タル者當事者ヲ不正ニ利シ若クハ害セシカ爲メ當事者ヲ不正ニ利シ又ハ害スヘキ不實ノ陳述通譯、鑑定等ヲ爲スコトヲ謂フ

故ニ本罪ヲ構成スルニハ下ノ各要素ヲ具備スルコトヲ要ス（一）民事商事又ハ行政裁判ニ關スルコト（二）證人、鑑定人、通事タルコト（三）不實ノ陳述通譯、鑑定ヲ爲シタルコト（四）當事者ヲ不正ニ利シ又ハ害スヘキコト（五）當事者ヲ不正ニ利シ又ハ害スルノ意思アルコト是ナリ

第一ノ要素 民利商事又ハ行政裁判ニ關スルコトヲ要ス

是レ第二百十八條刑事ニ關スル證人トシテ裁判所云云若クハ第二百二十三條民事商事又ハ行政裁判ニ關シテアルヨリ來ル所ノ要素タリ但シ唯リ第二百二十四條ニハ單ニ裁判所トアリテ何種ノ裁判所タルヤヲ示サスト雖モ「前數條ニ記載シタル偽證ノ例ニ照シテ處斷ス」トアリテ第二百十八條乃至第二百二十三條ノ明文ヲ承ケテ省略シタルコトヲ示スカ故ニ亦其民利商事又ハ行政裁判ニ關スルモノタルコト明白疑ヲ容レズ民利商事又ハ行政ノ裁判ニ關スルコトヲ要スルカ故ニ純然タル行政事項ニ付キ行政官廳又ハ公署ニ對シ若クハ犯罪ノ搜查等ニ付キ檢察官ニ對スルモノハ勿論縱令裁判所ニ對スル者ト雖モ懲戒ノ爲メニ開カレタル裁判ノ如キ民利商事又ハ行政ノ裁判ニ關セサルモノニ付テハ本罪ヲ構成セス然レトモ苟モ民利商事又ハ行政ノ裁判ニ關スルモノタルトキハ其之ヲ開キタル官廳ノ司法官廳タルト他ノ官廳タルト又其場所ノ裁判所内ナルト裁判所外ナルトニ關セス常ニ本罪ヲ構成ス隨テ軍衙ニ於ケル民利裁判ニ付テ偽證ヲ爲シ又ハ判事力出張シテ訊問ヲ爲シタル場



合ニ偽證ヲ爲シタルカ如キハ當然本罪ノ犯人タリ(尤モ後段ノ場合ニ付テ第二百十八條ニハ裁判所ニ呼出サレタル者トアリテ必ス裁判所ニ呼出ナレ且ツ裁判所内ニ於テ爲シタルニ非サレハ罪ヲ構成セサルカ如キ觀アリト雖モ畢竟多數ノ場合ヲ見テ用ヒタル熟語ノミニ重キヲ假テ(カラス)

第二ノ要素 證人鑑定人通事タルコトヲ要ス

熟ラ我一般ノ訴訟手續ヲ按スルニ證人鑑定人又ハ通事ト爲リ證言鑑定又ハ通譯ヲ爲スニハ一般ハ原則例外アリトシテ二段ノ條件ヲ完足スルコトヲ要ス即チ第一ニ證人鑑定人通事タルコトヲ得ルニハ一定ノ資格例ヘハ十六歲未滿ノ幼者公權剝奪又ハ停止中ノ者ニ非サルコトヲ具備スルコトヲ要シ(刑事ニ付テハ證人刑事訴訟法第一二三條第一二四條陸軍治罪法第六〇條海軍治罪法第六五條鑑定人刑事訴訟法第一三六條陸軍治罪法第六二條海軍治罪法第六七條通事刑事訴訟法第一〇一條第三項民事事ニ付テハ證人民事訴訟法第三一〇條鑑定人民事訴訟法第三一二條行政事件ニ付テハ證人行政裁判法第三八條鑑定人同上)第三ニ偽證ノ制裁ヲ受タル爲メニハ宣誓例ヘハ證人ナレハ良心ニ從ヒ其實ヲ述

(何事ヲモ默秘セス又何事ヲモ附加セサルコトヲ宣誓ス)ヲ爲スコトヲ要ス(刑事ニ付テハ證人刑事訴訟法第一二三條陸軍治罪法第六三條海軍治罪法第六八條鑑定人刑事訴訟法第一三七條陸軍治罪法第六三條海軍治罪法第六八條通事(刑事訴訟法第一〇一條第一項陸軍治罪法第六三條海軍治罪法第六八條民事事ニ付テハ證人民事訴訟法第三〇六條第三〇七條鑑定人民事訴訟法第三二九條行政事件ニ付テハ證人鑑定人行政裁判法第三八〇條)茲ニ一問アリ若シ裁判所カ第一ノ資格ヲ缺如セサル者即チ證人鑑定人通事ト爲ルコトヲ得ル者ニ非スト信シ幼者、公權剝奪又ハ停止中ノ者ヲ證人鑑定人通事トシテ宣誓セシメタル場合ニ於テ此等ノ者カ虛偽ノ陳述鑑定通譯ヲ爲シタルトキハ偽證ノ罪人トシテ罰スルコトヲ得ヘキヤ是ナリ曰ク此等ノ者ハ法律力其實ヲ陳述スルコト能ハサル者隨テ信用ヲ置クコト能ハサル者ト推測シ證人鑑定人通事タルコトヲ禁シタルモノナルカ故ニ縱令宣誓スルモ之ニ依リテ當テ有セザリシ能力ヲ獲得シ責任ヲ負フヘキ者ト爲ルノ理ナシ隨テ無罪ト謂ハサルヲ得ス但モ佛國ニ於テ有罪說ノ行ハルル所以ハ宣誓ハ神明ニ對スルモノニシテ一タヒ之ヲ誓ヒ

タル以上ハ如何ナル事情アルモ之ニ違背スルコトヲ得ストノ觀念アルカ故ニシテ畢竟偽證罪ヲ以テ我國ノ如ク裁判ト云フ公益ニ對スル罪トセスシテ神明ニ對スル罪ナリトシタルニ由ルノミ隨テ我刑法ノ上ニ於テ有罪說ヲ主張セシト欲セハ(一)本場合ニ於テ或者カ能力者ナルカ將タ無能力者ナルカ換言スレハ證人トシテ訊問スヘキ者ナリヤ將タ證人トスヘカラサル者ナリヤト云フノ事實ハ偏ニ裁判所ノ決定ニ屬セリ隨テ法律カ茲ニ證人ト謂フ所ノ者ハ裁判所カ能力者ナリト判定シテ宣誓ヲ命シタル者ト云フハ義ナリ然ラハ一タヒ裁判所カ此全權ヲ以テ一ノ事實ヲ決定シ或者ヲ證人トシテ宣誓セシメタル以上ハ是レ所謂法律上ノ證人詳言スレハ此決定ノ取消サレサル限ハ縱令事實ノ上ニ於テハ證人タルコトヲ得サル無能力者タリト雖モ法律ノ上ニ於テハ毫末ノ瑕疵ナキ證人タリ已ニ法律上毫末ノ瑕疵ナキ證人タリトセハ之ニ伴フヘキ責任ハ亦已ムヘカラサルモノタリ況ヤ此決定ハ一審ニシテ終審更ニ取消サルヘキノ途ナキニ於テヲヤト言フカ(二)法律上宣誓スルトセサルトハ證據其モノノ上ニハ何等ノ影響ヲモ有セサルモノニシテ單ニ刑事上ノ責任ヲ引クノ原因タルノ

ミ然ラハ法律カ或者ヲシテ宣誓セシメサルハ畢竟之ヲシテ嚴重ナル刑事上ノ責任ヲ負ハナラシメンカ爲メ即チ其者ノ利益ノ爲メノミ而シテ利益ハ公益ニ關セタル以上ハ之ヲ拋棄スルコトヲ得ルモノニシテ本問責任ヲ以テ不實ノ申立ヲ爲サストノ宣誓ハ公益ヲ害スルモノニ非スシテ寧ロ之ヲ助クルモノタリ隨テ幼者又ハ癡癲白痴ノ如キ利益ヲ拋棄スルノ能力ナキ者ハ宣誓其モノモ亦形式ノミニ止マリテ無効ナルカ故ニ論ナシト雖モ苟モ利益ヲ拋棄スルノ能力アル者隨テ有效ニ宣誓シタル者ハ若シ不實ナルトキハ制裁ヲ甘シスヘシトノ誓言ノ下ニ於テ法律カ特ニ保護シタル利益ヲ自ラ拋棄シタル者ナルカ故ニ元來資格アル者ト否トラ問ハス有罪ト謂ハサルヘカラスト言フカノ二者其一ニ出テサルヘカラスト然レトモ無能力者ナルカ故ニ宣誓セシメスト云フハ公益上ノ理由ニ出ツルモノナルカ故ニ縱令一私人ノ利益ニ關スルモノナルモ拋棄スルコトヲ許ササルノミナラス第一ノ論法ニ從フトキハ素ト被告人タルヘキ者カ證人トシテ宣誓シタル場合ニ於テモ亦同一ノ論決ニ出テサルヘカラサルノ結果ヲ生シ些カ穩當ヲ缺クノ觀アリ是レ予輩カ一般ノ學說ニ從ヒ消極論ヲ採

ヲシ所以ナリ(本問ハ輕微ナル問題ノ如キモ其實重大ナル原則ニ關スル問題ニシテ彼ノ官吏タルヘキ資格ナクシテ官吏タル者カ爲シタル收賄又ハ之ニ對スル侮辱罪ノ有無若クハ其行ヒタル處分ノ有效無效等皆之ニ關聯スル問題タリ沈思熟考シテ十分ナル研究ヲ遂クルコトヲ要ス注意ノ爲メ一言ス)然ラハ法律カ單ニ證人鑑定人又ハ通事トシテ證言又ハ通譯セシムルコトヲ得トノミ規定シ右ニ揭タルカ如キ宣誓等ノ方式ヲ規定セサルトキハ如何特ニ宣誓セシメタルトキニ非サレハ法律玆ニ所謂證人鑑定人通事トシテ罰スルコトヲ得サルヤ曰ク證人鑑定人又ハ通事タルノ資格又ハ身分ハ證人鑑定人又ハ通事トシテ其供述ヲ聽クヘシトノ命令ニ依リテ生スルモノニシテ苟モ命令ヲ受ケ證人鑑定人又ハ通事タル以上ハ其レ自身正實ナル證言鑑定又ハ通譯ヲ爲スヘキ者ナルカ故ニ純理上ヨリ言フトキハ縱令宣誓セサルモ虛偽ノ證言鑑定又ハ通譯ヲ爲シタルトキハ有罪ナリト謂ハサルヘカラサルモ刑事訴訟法第四百十四第二項ニ(證人及ヒ鑑定人ノ供述ハ宣誓ヲ用ユルコトナク之ヲ聽ク可シトアリテ證人又ハ鑑定人ハ刑事ニ於テ宣誓セシメタル場合ニ非スルハ之ヲ罰セ

タルノ趣旨ナルニ依リテ之ヲ觀レハ他ノ場合ニ於テモ亦之ト同シタ宣誓ハ刑事制裁ヲ受クルノ基本ニシテ宣誓セシメタル場合ニ非スルハ責任ヲ負ハシムルコト能ハスト謂ハサルヘカラス證人鑑定人通事タルコトヲ要スルカ故ニ事實參考人若クハ其他ノ名稱ヲ以テスル者ハ本罪ノ犯人タルヲ得ス

第三ノ要素 不實ノ陳述鑑定又ハ通譯ヲ爲シタルコトヲ要ス

陳述鑑定又ハ通譯カ不實ナルコトヲ要スルカ故ニ先ツ(一)陳述鑑定通譯ト看ルヘキ行爲アルコトヲ要ス初ヨリ默シテ答ヘス縱令語ルモノヲ知ル所ニ非ス答フルヲ欲セスト拒否スルカ如ク鑑定通譯ニ從事セスンハ通事ヲ除ク外刑事ニ付テハ第一百七十九條第一百八十條ノ範圍ニ屬シ民事裁ニ行政裁判ニ付テハ民事訴訟法第三百二十條第三百二十八條行政裁判法第三十八條ノ規定ニ屬ス然レトモ苟モ本件ニ關スル證言鑑定又ハ通譯ヲ爲サンカ縱令知ラス若クハ不明ナリト答フルモ仍ホ本罪ノ範圍ニ屬ス次ニ(二)不實ナルコトヲ要ス不實トハ真實ニ反スルコトヲ謂ヒ苟モ真實ニ適合セサルモノアラシク増附加減欺惑變換附加ト

欺詐トテ併合シタル場合皆茲ニ所謂不實タリ然レトモ若シ夫レ陳述鑑定通譯シタルコトカ眞實ニ反セザランカ縱令犯人ハ不實ト信シテ供述鑑定通譯スルモ無罪タリ  
右ニ説明スルカ如ク本罪ハ供述力不實ナルト否トニ依リテ或ハ罪ヲ構成シ或ハ構成セザルモノニシテ恰モ侮辱罪ニ於テ其行爲力侮辱タルトキハ直チニ罪ヲ完成シ然ラザレハ不成立タルト一般供述力不實隨テ既遂犯タルカ不實ナラス隨テ無罪ナルカノ二者其一ニ歸スルモノナルカ故ニ未遂犯ナキモノトス蓋シ供述力不實ナルヤ否ヤハ亦侮辱罪ニ於ケルカ如ク判斷ニ依リテ決セラルヘキモノニシテ判斷ヨリ生スル結果ニ未遂ト云フコトノ現ハルヘキ筈ナケレハナリ

然ラハ不實ノ行爲又ハ供述ハ一タヒ之ヲ爲シタルトキハ直チニ罪ヲ構成シ更ニ之ヲ變改スルモ取消スコトヲ得サルヤ曰ク然リ此點ニ付キ人或ハ供述ハ何時マテ之ヲ取消スコトヲ得ルヤトノ問題ヲ掲ケ豫審ニ於テハ何時マテ公判ニ於テハ何時マテ取消スコトヲ得ヘシナト説明スル者アリト雖モ供述ハ一タヒ

之ヲ了レハ直チニ責任ヲ生シ犯罪茲ニ構成セラル後ノ變更ハ更ニ又ニ責任ヲ生スヘキ供述ノミ之ニ依リテ前ノ供述力取消サレ已ニ生シタル犯罪力無責任ト爲ルノ理由アルヘカラス是レ實ニ簡單ナル理論タリ疑ハ生スヘキ點ニ非ス而シテ論者ノ此ニ及ハサル所以畢竟問題ノ撰テ誤リタルニ基因ス論者ノ問題ハ宜シク一ノ供述ト他ノ供述トノ分界換言スレハ供述ハ何時ニ始マリテ何時ニ終了スルヤトノ問題トシテ攻究スヘシ然ラハ一ノ供述行爲ヲ含ムハ何時終了シタリト認ムヘキヤ曰ク顯モ否ニ及ハス一度或申立カ口頭ヨリ發シタルトキ又ハ一ノ行爲カ自己ノ手ヲ離レタルトキハ直チニ終了ス換言スレハ一ノ申立ハ言語ノ連續力或一定ノ意味ヲ示ス毎ニ終了シ之ニ對スル變更ハ縱令時ヲ移サスシテ發生スルモ更ニ或一定ノ意味ヲ示シタル他ノ申立タリ決シテ前ノ者ト一體ヲ成スコトナシト謂ハサルヘカラス然レトモ予ハ(一)法律ハ一般ノ理想ニ據リテ制定セラレタルモノニシテ其解釋モ亦一般ノ理想ニ據ラサルヘカラス而シテ普通ノ觀念ニ於テハ少許ノ時又ハ場所ヲ異ニスルニ過キサルトキハ同時ニ同一ノ場所ニ於テ行ハレタルモノトシテ一ノ行爲ト看做ス連續犯ノ

如キ即チ是ナリ然レトモ便宜通俗ノ觀念ナルカ故ニ併合セントスル數箇ノ犯罪カ性質ヲ異ニスル等ノ妨アルトキハ嚴格ナル原則ニ拘ラサルヲ得スヲ以テ常トスルト(一)第二百二十六條此節ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者其事件ノ裁判宣告ニ至ラサル前ニ於テ自首シタル時ハ本判ヲ免ストアリテ法律ハ可成の犯人ノ悔後ヲ促シ以テ害惡ノ生セザランコトヲ希望スルトニ據リ姑ク嚴格ナル論法ヲ避ケ陳述力時ヲ以テ繼續スルノ間即チ通俗ノ觀念ニ於テ一回ノ陳述ト看做サルヘキ間ニ於テ爲サレタル取消ハ前ノ陳述ト一體ヲ爲シ罪ヲ構成セサルモノト言ハント欲ス(例ハ豫審ニ於テハ一ノ陳述ニ付キ署名捺印ヲ了ルマテ公判ニ於テハ一回ノ陳述ヲ了ルマテハ一箇ノ陳述ニシテ其間ニ爲サレタル取消ハ罪ヲ構成セサルモノトス)

第四ノ要素 當事者ヲ不正ニ利シ又ハ害スヘキコトヲ要ス

是レ法文ニ被告入ヲ曲庇スル爲メ又ハ陷害スル爲メトアルヨリ來ル結果ナリ(民事商事行政事件殊ニ鑑定通事ニ付テハ之ヲ言ハスト雖モ此ニ要シテ彼ニ要セサルノ理ナキカ故ニ畢竟前ヲ承ケテ行文ヲ省略シタルニ過キサルモノト

ス蓋シ縱令被告人ヲ曲庇又ハ陷害スルノ意思ヲ以テスルモ其證言鑑定又ハ通譯シタル所ノモノカ偶然實際ノ事實ニ適合スルカ又ハ被告ヲ曲庇又ハ陷害スルノ意思ヲ以テ實際不實ノコトヲ證言鑑定又ハ通譯スルモ其證言鑑定通譯カ實際被告事件ニ何等ノ影響ヲモ與ヘサルトキハ是レ猶ホ人ヲ毒殺セントシテ砂糖水ヲ服用セシメタルト一般犯意アリト雖モ所爲ナケレハナリ因ニ言フ本罪ハ往古羅馬時代ニ於テハ言語又ハ動作ニ依ル詐僞トシテ文書ニ依ル詐僞即チ文書偽造罪ト共ニ詐僞律ノ中ニ規定セラレシカ法律ノ發達ニ由リ彼ト分科セシモノニシテ其形式彼ト全ク同一ナルカ故ニ或ハ害ヲ生スルコトヲ要スト曰ヒ或ハ害ヲ生セシムルノ意思アルコトヲ要スト曰ヒ其構成ノ體裁亦彼ト同一ナリ然ラハ如何ナル場合ニ於テ虛僞ノ證言鑑定通譯カ害ヲ生スルコトヲ得ヘキモノ即チ不正ニ當事者ヲ利シ又ハ害スヘキモノト謂フコトヲ得ヘキヤ曰ク刑事事件ニ付テ之ヲ言ヘハ犯罪ノ構成又ハ刑ノ加重減免ニ影響ヲ有スヘキモノタルトキ此點ニ關シ或ハ豫審ハ單ニ公判ノ準備手續ニシテ被告事件ノ有罪無罪ヲ裁判スルモノニ非ス隨テ害ヲ生スヘキモノニ非スト云フコトヲ理由ト

シテ豫審中ニ於ケル偽證行為ハ無罪ナリト論スル者アリト雖モ豫審モ亦公判ト同シク被告事件ヲ免訴シ又ハ公判ニ付スル等被告人ノ利害ニ重大ナル關係ヲ有スル決定ヲ爲スモノナルカ故ニ探ルニ足ラサル謬見トス現ニ無罪論ノ最モ勢力アル佛國ニ於テモ之ヲ理由トシテ其說ヲ主張スル者甚タ稀ナリ民商事又ハ行政事件ニ付テ之ヲ言ヘハ當事者ノ權利ノ消長ニ影響ヲ有スヘキモノタルトキニ於テハ常ニ害ヲ生スルコトヲ得ヘキモノト謂フコトヲ得ヘシ然レトモ犯人ノ行為ニシテ害ヲ生シ得ヘキモノタル以上ハ縱令裁判官ニ於テ之ヲ取リテ斷案ノ資料トセサルモ裁判ヲ誤ラシメ因リテ不正ニ當事者ヲ利シ又ハ害スヘキ危險アルモノナルカ故ニ犯罪ノ構成ヲ妨クルコトナシ

第五ノ要素 害ヲ生セシムルノ意思即チ當事者ヲ不正ニ利シ又ハ害スルノ意思アルコトヲ要ス

害ヲ生セシムルノ意思即チ裁判ヲ誤ラシメ因リテ當事者ヲ不正ニ利シ又ハ害スルノ意思アルコトヲ要スルカ故ニ縱令其事ノ不實ナルヲ知ルモ裁判ニ影響ヲ生スヘキモノニ非スト信シテ陳述ヲ爲シタル場合ニ於テハ罪ヲ構成スルコ

會計検査院ハ各年度ノ會計検査ノ成績ヲ上奏シ其結果法律又ハ行政上ノ改正ヲ必要ナリト認ムルトキハ併セテ意見ヲ上奏スルコトヲ得

#### 第四章 内務行政

學者多クハ行政ヲ區分シテ外務軍務財務内務及ヒ司法ノ五トス然レトモ此區別ハ學理上ノ十分ノ點少カラズ或ハ内務以外ノ行政ノ目的ハ國權ノ維持増進ニ在レトモ内務ノ目的ハ公共ノ安寧幸福ノ維持増進ニ在リ此點ハ學理上ノ區別ト謂フコトヲ得即チ内務行政トハ公共ノ安寧秩序ヲ維持シ國民ノ福利ヲ増進スルヲ目的トスル行政ナリト爲ス此議論ハ國家ノ行政ト公共ノ行政トヲ區別スルノ精神ニ出ツ然レトモ既ニ述ヘタル如ク國家ノ事務ト公共ノ事務トハ之ヲ區別シ難シ左ハ此定義ニ於テ國家事務ニ對シテ公共事務ノ範圍ヲ限リ之ヲ内政ト稱スルハ十分ナル證據ヲ有スト謂フヘカラス予ハ姑ク内政トハ直接ニ一國ノ安寧ヲ保持シ國民ノ幸福ヲ増進スル政務ノ範圍ヲ稱セントス此ニ所謂直接トハ間接ノ作用ト區別スル所以ニシテ例ヘハ財政ノ如キ軍務ノ如キ司法

ノ如キ外務ノ如キ總テ一國ノ安寧保持幸福増進ニ非サルナシト雖モ其作用ハ直接ニ此目的ヲ達スルモノニ非ス直接ニハ貸財ヲ收支シ軍備ヲ設置利用ヲ法令ヲ解釋適用シ外國トノ關係ヲ處理スルカ如キ作用カ間接ニ安寧幸福ヲ計ル所以ト爲ルモノトス此觀念ニ據ルトキハ內政ノ性質ヲ了知スルニ庶幾カラシカ

總テ行政ノ作用ハ二種ニ分ツコトヲ得一ハ之ヲ積極的作用トモ稱スルヲ得ヘク一ハ之ヲ消極的作用ト名クルヲ得ヘシ前者ハ進ミテ一國ノ幸福ヲ増スコトヲ力ムルモノニシテ後者ハ一國ノ安寧ニ對スル危害ヲ防除スルモノナリ一ハ之ヲ輔育ノ事務ト稱シ一ハ除害ノ事務ト名クヘシ內政ノ範圍ニ於テモ此二種ノ作用ヲ認ム前者ハ甚タ難漠ニシテ假ニ之ヲ大別スルトキハ

(甲)國民ノ物質的生活ニ關スル事務 此事務ヲ大別スルトキハ一人事二衛生三救恤四經濟ニ分ツコトヲ得人事トハ人ノ身分族籍ニ關スルノ事務ナリ衛生トハ國民ノ健康ヲ保全スルノ事務ナリ救恤トハ窮民ニ對スル事務ナリ而シテ經濟トハ農工商業土木交通河海山林礦山等各種ノ國民經濟ニ關スル事務ヲ謂フ

(乙)國民ノ精神的生活ニ關スル事務 此事務ヲ大別スルトキハ一宗教二教育ニ區分スルコトヲ得宗教トハ國民ノ信仰ニ關スル事務ニシテ教育トハ國民ノ文化ニ關スル事務是ナリトス

以上ノ積極的作用ニ對スルモノハ消極的作用ニシテ警察是ナリ先ツ便宜上警察ヨリ論セント欲ス

警察トハ學者ハ獨逸ニ所謂Polizeiト同意義ニ用フ故ニ先ツポリツアイア觀念ヲ略述セントス之ヲ爲スニハ其意義ノ沿革ヲ論スルノ必要アリ元來往昔社會ノ簡易ナルニ當リテハポリツアイト云フ確定セル觀念ナキハ勿論ナリ此ノ如キ時代ニ在リテハ政務ト稱スヘキモノヲ舉クレハ唯社會生存ノ必要上外敵ニ對スル攻守ノコト即チ今日ノ軍務ノ政ノ萌芽ハ早ク既ニ生シタリ之ト共ニ其社會ノ内部ニ於テ社會生存ニ危害ヲ與フル如キ者ニ對スル處分ハ亦是非共必要ナリシナリ是レ今日ノ裁判制度ノ萌芽トス此内外ノ二種ノ政務ハ如何ナル簡單ナル社會ニ於テモ必要缺ヘカラサルモノナリシニ反シ其他ノ政務ハ尙ハ漸進セナリシナリ然ルニ社會漸ク進歩スルニ及ヒテハ政務ノ種類増加シ來リ此

ニ一定ノ組織ヲ成スニ至レリ「ギリシャ」「アリストットル」ハ此等政務ヲ宗教ニ對シテ區別シ「Plato」即チ「Plato」ト稱セリ是レ即チ今日ノ所謂「ポリツァイ」起原ナリトス「アリストットル」民ノ區別ハ久シク用ヒラレ來リシカト十七世紀ノ頃ニ降リテ新敎國續興ニ從來ノ如ク宗教ヲ以テ政治上ノ權力ヨリ獨立セシムルノ主義ヲ排シ宗教上ノ權力ヲ政治上ノ權力ニ合併スルニ至リ二者ノ間ノ區別ハ薄弱ト爲リ隨テ「ポリツァイ」ナル語ハ其意義ヲ一轉シ先ツ司法ニ對シテ區別セラルルニ至レリ其所以ハ司法制度ハ普通ノ行政トハ其性質ヲ同シウセサルヲ以テナリト云フニ在リ次ニ外務ノ政務ノ政ニ對シテ區別セラルルニ至レリ其所以ハ外務ハ外國ニ對スル關係ニシテ國內關係ト趣ヲ異ニシ軍務ハ寧ロ非常ノ行政ニ屬シ且ツ外務ト同ク多ク對外關係ニ起ルモノニシテ此等ハ其他ノ領土行政(Territorialverwaltung)ト區別スヘキモノナリト考ヘ是ニ於テ「ポリツァイ」ノ意義ハ自ラ限界セラルルニ至レリ此頃ニ當リテハ歐洲ノ形勢ハ一般ニ君主ノ壓制ヲ厭ヒ國民ノ權利ヲ伸張セントスルノ傾向ナリシカ故ニ國ノ政務ハ國民ノ利益ヲ主トセサルヘカラスト「國民ハ頻ニ國ノ政務ニ際ラ容レ君主ノ

權ヲ縮小セシコトヲ力メタリ然レトモ前述セル外務軍務ノ政ノ如キハ其性質上一ノ國民ノ干涉ヲ容テス君主ノ特權トシテ留保セシムルノ必要アリ何トナレハ外務ハ機敏ノ政策ヲ必要トシ軍務ハ統一ノ方略ヲ重スルカ故ニ之ヲ君主ノ手ニ一任スルヲ便ナリトスルハ論ナケレハナリ是ニ於テカ一般ノ傾向ハ此等以外ノ政務ヲ以テ自己ノ權内ノモノノ如クニ思考シ前者ヲ以テ君主ノ行政ト名ケ得ヘクンハ後者ハ之ヲ公共又ハ國民ノ行政ト名ケ得ヘキノ有様ナリレナリ蓋シ學者モ寧ロ後者ニ重キヲ置キ古來用ヒ來リシ「ポリツァイ」ナル語ヲ以テ此公其行政ノ意義ニ用ヒ始メシナリ

然ルニ此「ポリツァイ」ノ意義モ更ニ一層狹メラルルニ至レリ即チ今日所謂財務ノ政ハ元來歲出歲入ヲ整理スル所以ニシテ諸政務ノ基礎ト爲リ最重要ナル部分ナルト共ニ國民カ直接ニ痛痒ヲ感スルコト亦最も深キモノトス故ニ國民ハ之ニ對シテ十分瞭ラ容レントスルノ希望アルハ其當時ノ形勢ニ於テ然リシナリ然レトモ更ニ一方ヨリ之ヲ觀察スレハ國民ハ議會ト云フ機關ニ依リ豫算ノ議定ニ參與シ財政ノ基礎ハ之ヲ其掌裡ニ握ルノ狀アルカ故ニ更ニ進ミテ



實際ノ收支ニ付キ一々ヲ容ルル必要ナキノミナラス亦不可能ノ事トス是ニ於テカ國庫ノ收支ノ如キハ寧ロ之ヲ君主ノ手ニ任セ唯其根本タル豫算及ヒ租稅法律ニ協贊權ヲ有スレハ十分ナルヲ以テ財務行政ハ「ポリツアイ」内ヨリ取除カレテ君主ノ行政ノ部分ニ移サレ終ニ「ポリツアイ」内務ノ行政ノ範圍ニ限局セララルルニ至リシナリ

既ニ述ヘシ如ク社會カ未タ十分發達セサルニ當リテハ政務ハ多ク消極的ニシテ即チ危害ノ防除ヲノミ是レ努メ進ミテ各箇人ノ福利ヲ増進スルコトヲ十分計畫スルノ道ナシ故ニ内務行政ニ於テモ初ハ主トシテ除害ノ働ニ止マリシモノニシテ福利ノ行政ノ發達ハ近時ニ屬ス「ポリツアイ」アル語モ是ニ於テカ先ツ前者ノ範圍ニ使用セラレ隨テ今日後者ノ政務ノ發達セルニ拘ラス尙ホ學者ハ警察ノ範圍ヲ稱シテ「ポリツアイ」ト云ヒ他ノ内務行政ノ部分ト區別ス即チ「Schleiss- und ordnung Polizei」トモ他ヲ「Wohlfahrts-Polizei」ト稱ス

以上ハ外國ニ於ケル「ポリツアイ」觀念ノ沿革ナリ今ヤ進ミテ此「ポリツアイ」ノ意義ニ關セテ學者ノ論スル所ヲ聞クニ先ツ之ヲ大別スルトキハ一ハ目的ニ重キヲ

置ク説ト一ハ手段ニ重キヲ置ク説トニ區別スルヲ得ヘシ前者ハ例ヘハ警察トハ國家公共ノ安寧幸福ニ對スル危害ノ防止ヲ目的トスル行政ナリト云フカ如シ然レトモ多クノ學者ハ之ヲ以テ漠然ニ失スルモノト云フ例ヘハ堤防ヲ築キテ水害ヲ防クカ如キハ危害防止ノ目的ヲ有スレトモ警察ニ非ストス是ニ於テカ手段ニ重キヲ置クノ説ヲ生ス之ニ據レハ警察トハ人ノ自由ヲ制限スル強制力ノ働ヲ謂フトセリ然レトモ此説モ殆ト同様ノ非難ヲ免レス何トナレハ租稅ノ徵收軍事ノ徵發ノ如キ人ノ自由ヲ制限スル働ナレトモ警察ト謂フヘキニ非ナレハナリ是ニ於テカ二者ヲ折衷スルノ議論ヲ生ス我國ノ成學者ハ曰ク警察トハ國家命令權ノ直接作用ニ由リ直接ニ公共ノ安寧幸福ノ爲メニ人ノ自由ヲ制限シ必要アレハ之ヲ強制スル國家ノ行爲ナリト此説ニ於テ先ツ國權ノ直接作用ト云フハ特別ノ服從關係ニ基カサル場合ニシテ例ヘハ官吏ノ如キ兵士ノ如ク特別ノ服從關係ニ基クモノハ此ニ所謂直接作用ニ非ス又直接ニ公共ノ安寧幸福ノ爲メニ人ノ自由ヲ制限スト云フハ間接ノ作用ト區別スル所以ニシテ例ヘハ租稅ノ如キ徵兵ノ如キハ人ノ自由ヲ直接ニ制限スレトモ直接ニ公共ノ安

寧幸福ト爲ルモノニ非スト論ス。然レトモ第一ニ國權直接ノ作用ト云フハ事ロ贅語タルヲ免レス何トナレハ直接ニ公共ノ安寧幸福ノ爲メニ人ノ自由ヲ制限スト云ハ官吏兵卒ノ如キニ對スル命令權ヲ指シタルモノニ非サルコト明カナルカ故ニ更ニ國權直接ノ作用ト云フノ必要ナシ第二ニ此定義ハ國家ト公共トノ區別論ニ基キタルモノニシテ此區別ニ關シテハ既ニ屢ニ反對ノ意見ヲ述ベタルカ故ニ更ニ此ニ述ヘス尙ホ我國ニ在リテ有力ナル議論ハ獨逸ノ「ザイデル」ノ說ニ基キタルモノニシテ曰ク警察トハ人ノ行爲ヨリ起リ秩序ノ危害ヲ防止スルカ爲メニ人ノ自由ヲ制限シ其制限力直接ニ秩序ノ維持ト爲ル如キ作用ヲ稱スト此說ハ警察ヲ狹義ニ解セルモノナリ先ツ警察權ノ働ハ人ノ行爲ニ起ル秩序危害タルヲ要ス即チ天災ノ如キハ一切此働ノ原因ト爲ラサルモノトス次ニ人ノ自由制限力直チニ秩序維持ト爲ルコトヲ要スト云フナリ此ノ說ハ狹キニ過キラ其不便ナルノミナラス我現行法ニ於テハ警察トハ明カニ此ノ如キモノニ非サルカ故ニ姑ク之ニ從ハサルコトトス

定メタリ而シテ其所謂規則ナルモノハ行政官廳ノ定ムル所ニシテ其條中或ハ其ニ健康ヲ保護スルニ足ラサルモノアルヘク或ハ全ク其他ノ關係ヨリ其規則中ニ含マシムルコトアルヘシ而シテ地方官廳ハ尙ホ此等ノ條ニ付キ其違反者ハ刑法第四百二十六條第四項ノ刑ニ處セラルヘキコトヲ規定シタルトキハ地方廳ハ此等ノ條ヲ以テ事實上健康ヲ保護スルニ必要ナル規則ト認定セルヤ明カナリ然ルニ裁判官ニシテ之ヲ行政上ニ必要ナラストシ以テ其效力ナキモノトスルコトアレハ是レ實ニ司法權ニシテ行政權ヲ蹂躪セルモノト謂フヘシ(江法學博士以下參照)

既ニ論スル如ク違警罪ハ學理上行政ノ處分ナリ故ニ予今之ヲ現行法ニ照シ左ニ警察上ヨリ之カ分類ヲ試ミントス

#### 第一 保安警察

- 一 人ヲ毆打シテ創傷疾病ニ至ラサル者(刑法第四二條第五款)
- 二 定マリタル住居ナク平素營生ノ產業ナクシテ諸方ニ徘徊スル者(刑法第四二條第五款)
- 三 違警罪ノ犯人ヲ曲庇スル爲メ偽證シタル者(刑法第一四二條)

- 四 公然人ヲ罵詈訾弄シタル者但訴ヲ待テ其罪ヲ論ス(刑法第四二六)  
五 流言浮説ヲ爲シタル人ヲ誣惑セタル者(刑法第一四二七)  
六 邸宅ノ番號標札招牌又ハ貸家賣買ノ貼紙其他報告ノ榜標等ヲ毀損シタル者(刑法第四二九)

- 七 他人ノ田野園圃ニ於テ採食シ又ハ花卉ヲ採折シタル者(刑法第一四二九)  
八 公園ノ規則ヲ犯シタル者(刑法第四二九)

第二 風俗警察

- 一 密ニ賣淫ヲ爲シ又ハ其媒合容止ヲ爲シタル者(刑法第四二五)  
二 路上ニ於テ賭博ニ類スル商業ヲ爲シタル者(刑法第四二六)  
三 道路ニ於テ放歌高聲ヲ發セテ制止ヲ肯セサル者(刑法第一四二九)  
四 路前シテ路上ニ喧噪シ又ハ醉臥シタル者(刑法第四二九)  
五 人家ノ牆壁ニ貼紙及ヒ樂書シタル者(刑法第四二九)

第三 衛生警察

- 一 官許ヲ得スレテ死屍ヲ解剖シタル者(刑法第七四二)

- 二 自己ノ所有地内ニ死屍アルコトヲ知テ官署ニ申告セス又ハ他所ニ移シタル者(刑法第八二)

三 不潔ノ糞物又ハ腐敗シタル飲食物ヲ販賣セタル者(刑法第三四二)

- 四 健康ヲ保護スル爲メ設ケタル規則又ハ傳染病豫防規則ニ違背シタル者(刑法第四二六)

五 禽獸ノ死屍ヲ道路ニ棄擲シ又ハ取除カサル者(刑法第四二六)

- 六 汚穢物ヲ道路家屋園圃ニ投擲シタル者(刑法第四二六)

- 七 醫師種痘事故ナクシテ急病人ノ招キニ應セサル者(刑法第九四二)

- 八 溝渠下水ヲ毀損シ又ハ官署ノ督促ヲ受ケテ溝渠下水ヲ浚ハサル者(刑法第八二)

第四 營業警察

- 一 警察ノ規則ニ違背シテ工商ノ業ヲ爲シタル者(刑法第四二六)  
二 官署ヨリ價額ヲ定メタル物品ヲ定價以上ニ販賣シタル者(刑法第一四二)  
三 官許ヲ得スレテ劇場其他觀物場ヲ開キ及ヒ其規則ニ違背シタル者(刑法第四二六)  
第五 交通警察

- 一 人ノ通行スヘキ場所ニ在ル危險ノ井溝其他凹所ニ蓋又ハ防圍ヲ爲ササル者(刑法第四二條第五號)
- 二 制止ヲ肯セシテ人ノ群集シタル場所ニ車馬ヲ牽キタル者(刑法第四二條)
- 三 渡船橋梁其他ノ場所ニ於テ定價以上ノ通行錢ヲ取り又ハ故ナク通行ヲ妨ケサル者(刑法第四二條)
- 四 渡船橋梁其他通行錢ヲ拂フヘキ場所ニ於テ其定價ヲ出サスシテ通行シタル者(刑法第四二條)
- 五 他人ノ繫キタル舟筏ヲ解放シタル者(刑法第四二條)
- 六 橋梁又ハ堤防ノ害ト爲ルヘキ場所ニ舟筏ヲ繫キタル者(刑法第四二條)
- 七 車馬ヲ並ヘ牽テ行人ノ妨害ヲ爲シタル者(刑法第四二條)
- 八 水路ニ於テ舟ヲ並ヘ通船ノ妨害ヲ爲シタル者(刑法第四二條)
- 九 出入ヲ禁止シタル場所ニ濫リニ出入シタル者(刑法第四二條)
- 一〇 通行禁止ノ榜示ヲ犯シテ通行シタル者(刑法第四二條)
- 一一 通路ナキ他人ノ田圃ヲ通行シ又ハ半馬ヲ牽入レタル者(刑法第四二條)

# 第六 道路警察

- 一 路上ニ於テ犬其他ノ獸類ヲ糞シ又ハ驚逸セシタル者(刑法第四二條)
- 二 發狂人ノ看守ヲ怠リ路上ニ徘徊セシタル者(刑法第四二條)
- 三 狂犬、猛獸等ノ繫鎖ヲ怠リ路上ニ放チタル者(刑法第四二條)
- 四 濫リニ車馬ヲ疾驅シテ行人ノ妨害ヲ爲シタル者(刑法第四二條)
- 五 夜中燈火ナクシテ車馬ヲ疾驅スル者(刑法第四二條)
- 六 木石等ヲ道路ニ堆積シテ防圍ヲ設ケス又ハ標識ノ點燈ヲ怠リタル者(刑法第四二條)
- 七 瓦礫ヲ道路家屋圍固ニ投擲シタル者(刑法第四二條)
- 八 路上ノ植木市街ノ常燈及ヒ圓場等ヲ毀損シタル者(刑法第四二條)
- 九 道路橋梁其他ノ場所ニ榜示シタル通行禁止及ヒ指道標ノ類ヲ毀棄汚損シタル者(刑法第四二條)
- 一〇 制示ヲ肯セシテ路傍ニ食物其他ノ商品ヲ羅列シタル者(刑法第四二條)
- 一一 他人ノ繫キタル牛馬其他ノ獸類ヲ解放シタル者(刑法第四二條)

- 三 牛馬諸車其他物件ヲ道路ニ横タヘ又ハ木石薪炭等ヲ堆積シテ行人ノ妨害ヲナシタル者(刑法第四二條)
- 三 水雪塵芥等ヲ道路ニ投棄シタル者(刑法第四二條)
- 四 官署ノ督促ヲ受ケテ道路ノ掃除ヲ爲ササル者(刑法第六四二條)
- 五 制止ヲ肯セシテ路上ニ遊戲ヲ爲シ行人ノ妨害ヲ爲シタル者(刑法第六四二條)
- 六 牛馬ヲ牽キ又ハ繫クコトヲ忽ニシテ行人ノ妨害ヲ爲シタル者(刑法第六四二條)
- 七 路上ノ常燈ヲ消シタル者(刑法第四二九條)
- 第七 建築警察

- 一 官署ノ督促ヲ受ケテ崩壊セントスル家屋牆壁ノ修理ヲ爲ササル者(刑法第六四二條)
- 二 私有地外ヘ家屋牆壁ヲ設ケ又ハ軒楹ヲ出シタル者(刑法第六四二條)
- 三 官署ヲ得シテ路傍又ハ河岸ニ床店等ヲ開キタル者(刑法第四二七條)
- 第八 危險警察
- 一 規則ヲ遵守セシテ火藥其他破裂スヘキ物品ヲ市街ニ運搬シタル者(刑法第一二五條)

- 二 規則ヲ遵守セシテ火藥其他破裂スヘキ物品又ハ自ラ火ヲ發スヘキ物品ヲ貯藏シタル者(刑法第四二二條)
- 三 官署ヲ得シテ烟火ヲ製造シ又ハ販賣シタル者(刑法第四二二條)
- 四 人家稠密ノ場所ニ於テ濫リニ烟火其他火器ヲ玩ヒタル者(刑法第四二二條)
- 五 蒸氣器械其他煙筒火竈ヲ建造修理シ及ヒ掃除スル規則ニ違背シタル者(刑法第四二五條)
- 第九 宗教警察

- 一 墓碑及ヒ路上ノ神佛ヲ毀損シ又ハ汚漬シタル者(刑法第四二六條)
- 二 神祠佛堂其他公ノ建造物ヲ汚損シタル者(刑法第四二六條)
- 三 妄ニ吉凶禍福ヲ說キ又ハ祈禱符呪等ヲ爲シ人ヲ惑ハシテ利ヲ圖ル者(刑法第一二七條)
- 第十 火災警察
- 一 人家ノ近傍又ハ山林田野ニ於テ濫リニ火ヲ焚ク者(刑法第一四二條)
- 二 水火其他ノ變ニ際シ官吏ヨリ防禦スヘキノ求メヲ受ケ傍觀シテ之ヲ肯セ

ナル者(刑法第四二條)

第十一 埋葬警察

一 官許ノ墓地外ニ於テ私ニ埋葬シタル者(刑法第一四二條五)

二 變死人ノ檢視ヲ受ケスシテ埋葬シタル者(刑法第四二條)

三 死亡ノ申告ヲ爲サスシテ埋葬シタル者(刑法第四二條)

違警罪ヲ以テ刑法中ニ規定スルノ非ハ既ニ之ヲ述ヘタリ而シテ我國ニ於テハ之カ即決ニ關シテハ明治十八年九月二十四日布告第三十一號ヲ以テ違警罪即決例ナルモノヲ設ケタリ此場合ニ於テ警察官ハ裁判官タリ其法文ニ據レハ警察署長及ヒ分署長又ハ其代理タル官吏ハ其管轄地内ニ於テ犯シタル違警罪ヲ即決ス(第一條又即決ノ言渡ニ對シテハ違警罪裁判所ニ正式ノ裁判ヲ請求スルコトヲ得第三條)而シテ正式ノ裁判ヲ請求スル者ハ即決ノ言渡ヲ爲シタル警察署ニ申立書ヲ差出スヘシ(第五條)此場合ニ於テ裁判官ハ其固有ノ職權ヲ行フモノナルヤト云フニ佛蘭西主義ニ依レハ恐クハ是レ司法官タルノ資格ニ於テスルナルヘシト雖モ法理上ヨリ之ヲ解セシカ先ニ述ヘタル如ク違警罪ハ處罰ニ

非スシテ行政ノ處分ナリ隨テ其性質司法ニ屬スヘキモノニアラスシテ行政ノ範圍ニアルヘキモノナリ

## 警察法終

警察法  
講義

一六八

警察法  
講義  
第一編  
第一章  
警察の概論  
第一節  
警察の意義  
警察とは、国家の治安を維持し、人民の安全を保障することを目的とするものである。その権限は、法律に基づき、人民の自由を制限するものである。警察は、国家の権威を代表し、人民の安全を保障する重要な機関である。

（三十三年度講義録）

法學士 松井 茂 講述

# 警察法

和佛法律學校發行

## 警察法目次

|     |         |     |
|-----|---------|-----|
| 第一章 | 緒論      | 一   |
| 第二章 | 警察法學    | 三   |
| 第三章 | 警察ノ沿革   | 九   |
| 第一節 | 我邦警察ノ沿革 | 九   |
| 第二節 | 歐洲警察ノ沿革 | 三四  |
| 第三節 | 警察ノ分化   | 四七  |
| 第四章 | 警察ノ法源   | 五二  |
| 第五章 | 警察ノ性質   | 五九  |
| 第六章 | 警察ノ定義   | 六三  |
| 第七章 | 警察ノ分類   | 八四  |
| 第八章 | 警察權ノ基礎  | 一〇八 |
| 第九章 | 警察權ノ範圍  | 一一五 |



|                     |     |
|---------------------|-----|
| 第十章 警察ト内務行政トノ關係     | 一二一 |
| 第十一章 警察ト司法トノ關係      | 一二九 |
| 第十二章 警察ト軍隊トノ關係      | 一三三 |
| 第十三章 警察法ト憲法トノ關係     | 一三六 |
| 第一節 警察ト所有權トノ關係      | 一四一 |
| 第二節 警察ト宗教トノ關係       | 一四九 |
| 第三節 警察ト居住及ヒ移轉トノ關係   | 一五四 |
| 第四節 警察ト集會結社及ヒ出版トノ關係 | 一六二 |
| 第一款 集會及ヒ結社ニ關スル警察    | 一六二 |
| 第二款 出版警察            | 一六八 |
| 第五節 警察ト家宅侵入トノ關係     | 一七五 |
| 第十四章 警察法ト刑法トノ關係     | 一八二 |

# 校外生規則摘要

- 一 講義録ハ各部毎月二回發行シ滿一今年ヲ以テ卒業トス
- 一 講義録ハ之ヲ三部ニ分ツ其發行定日左ノ如シ
  - 第一部 毎月 五日 二十日
  - 第二部 毎月 十日 廿五日
  - 第三部 毎月 十五日 三十日
- 一 月謝金ハ全部壹圓、各一部四十錢トス但シ入學金ヲ要セス
- 一 校外生ハ本校講議會、討論會ニ出席傍聴スルコト及ヒ本校ノ出版ニ係ル書籍雜誌ハ特別ノ廉價ヲ以テ購求スルコトヲ得
- 一 校外生全部卒業證書ヲ有スル者ハ試験ノ上校內生三年級ニ編入セラルコトヲ得
- 一 校外生ハ講義録中ノ疑義ニ付キ質問スルコトヲ得問題ハ一問毎ニ別紙ニ認メ且一問毎ニ返信用郵券ヲ封入スルコトヲ要ス
- 一 三個月以上月謝不納ノ者ハ退學者ト看做ス
- 一 月謝ハ東京飯田町郵便支局拂和佛法律學校會計係宛トスヘシ

明治廿二年十二月九日內務省許可

明治三十四年三月十一日印刷

明治三十四年三月十五日發行

東京市四谷區四谷中町三丁目三十八番地

編輯者 小田幹治郎

東京市芝區西ノ久保町第十一番地

印刷者 金子鐵五郎

東京市芝區西ノ久保町第十一番地

印刷所 金子活版所

東京市總町區富士見町六丁目十六番地

發行所 司法省 和佛法律學校

(電話番町百七十四番)